

令和7年度

事業報告

目 次

1	全体総括	1
2	基本方針ごとの総括	2
3	事業内容	
	基本方針1 地域共生のための体制づくり	
	推進項目1 地域づくり活動の基盤整備	1 0
	推進項目2 包括的支援体制の構築	1 6
	推進項目3 行政と社協のパートナーシップの強化	3 3
	推進項目4 県民啓発と情報発信	3 5
	基本方針2 住民参加による地域づくり	
	推進項目1 福祉教育による地域活動の育成支援	3 6
	推進項目2 誰一人取り残さない地域社会づくり	3 8
	推進項目3 多様な主体によるネットワークづくりの推進	5 0
	推進項目4 地域における公益活動の推進	5 2
	推進項目5 危機管理体制づくりの推進	5 3
	基本方針3 福祉サービスの基盤づくり	
	推進項目1 福祉人材の確保・育成・定着の推進	6 4
	推進項目2 福祉サービスの質の向上と社会福祉経営基盤の強化	7 8
	基本方針4 組織・経営基盤の強化	
	推進項目1 法人経営の基盤強化と財源の確保	8 7
	推進項目2 職員の資質向上と意識改革	9 2
	その他 災害時における被災地支援	
	令和7年8月19日からの大雨災害に伴う被災地支援の状況	9 4
	大雪に伴う被災地支援	9 4

令和7年度 事業報告

1 全体総括

世界情勢の不安定化などにより、物価やエネルギー価格の上昇が続き、家庭生活のみならず、福祉施設・事業所の経営や、福祉サービスの安定的な提供にも影響が及んでいます。

また、国においては社会福祉法の改正に向けた検討が行われ、包括的な支援体制の整備や権利擁護支援のあり方など、社会福祉協議会に大きく関わる内容について議論されました。

こうした中、本会では「第6期秋田県地域福祉活動計画」における4つの基本方針に基づき、関係機関・団体との連携のもと、次のとおり各種事業に取り組みました。

基本方針の1点目である「地域共生のための体制づくり」に向けては、少子高齢化の進行などを背景とした地域の支え合い機能の低下や地域における生活課題の複雑・多様化といった状況を踏まえ、市町村が包括的な総合相談・生活支援体制の構築を目指す「重層的支援体制整備」の後方支援、権利擁護支援体制の構築、地域包括ケアシステムの深化の推進に向けた事業等を実施しました。また、生活福祉資金のコロナ特例貸付について、借受人の生活状況把握を目的に、市町村社協担当者の協力のもと、自宅訪問を行う等フォローアップ支援の取組を行いました。

さらに、地域福祉推進委員会では、関係団体からの要望を整理し、国・県・市町村に対する政策要望を取りまとめ、県との懇談協議等を通じて、政策提言を行いました。

基本方針の2点目である「住民参加による地域づくり」では、福祉教育の推進のため、中学生・高校生・特別支援学校生徒が行う地域貢献活動に助成を行い、ボランティア・市民活動の意識醸成を図りました。また、子どもの居場所づくり等に取り組む支援団体等のネットワークの充実・拡大に向けて、県内の支援団体や企業等への訪問活動や、連絡会議・情報交換会・勉強会等に取り組んだほか、子ども食堂等の子どもの居場所づくりの立ち上げや運営等をまとめた「子どもの居場所づくりガイドブック」を作成しました。高齢者の生きがい・健康づくりの推進に向けては、高齢者の社会参加を促進するため、eスポーツ等を活用した出前講座や、大学や関係者の協力を得てeスポーツ体験によるフレイル予防の効果検証等に取り組みました。このほか、災害福祉支援機能の構築に向けては、新たに秋田県災害福祉支援センターを開設し、自然災害に向け平時からの準備体制の整備を図るとともに、災害発生時には福祉分野のニーズに即応できる体制、災害福祉機能の構築を図りました。

基本方針の3点目である「福祉サービスの基盤づくり」では、福祉人材確保に向けて多様な人材の参入促進や職場定着促進の取組と併せ、中長期的な視点に基づき、福祉分野への若年層の関心を高めるための取組として、福祉施設の若手職員による中学生を対象としたセミナーや高校生を対象に福祉施設での職場体験事業を実施し、福祉の仕事への理解促進を図りました。また、県内3地区(大館市・秋田市・横手市)に配置している福祉人材キャリア支援専門員が福祉施設・事業所等を訪問し、福祉人材センターへの求人・求職登録及びマッチングの促進に努めました。さらに、福祉サービスの質を高めるため、福祉従事者研修の充実を図ったほか、運営適正化委員会による苦情解決、福祉サービス第三者評価の実施、介護サービスの情報公表制度の適切な運営に努めました。

基本方針の4点目である「組織・経営基盤の強化」では、社会福祉法をはじめとする関連法令に基づき法人運営を進めるとともに、会員の拡大や自主財源の確保に努めたほか、職員の職務遂行能力の向上を図るため、人事評価制度の導入に向けた実施要領の改定を行いました。秋田県社会福祉会館の運営においては、指定管理者の円滑な移行に向けた事務引き継ぎを行いました。

2. 基本方針ごとの総括

《基本方針1》 地域共生のための体制づくり

- 判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障害者などが地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を支援する「日常生活自立支援事業」では、県内各市町村福祉生活サポートセンターにおいて16,780件の相談に対応しました。また、実利用件数は674件(前年度比30件増)と過去最高を更新し続けており、今後も増加が見込まれる利用ニーズに対応しながら、併せて事業の適正性も確実に担保できるよう、一層の体制強化を図ってまいります。

「権利擁護支援の体制構築モデル事業」では、潟上市、上小阿仁村の各社協を指定し、弁護士、司法書士等による推進委員会や現地指導を通じて、地元行政とともに令和8年度からの権利擁護センターの設置や法人後見の実施に向けた検討を行いました。

県からの受託事業である「成年後見制度利用促進事業」では、司法等専門職や中核機関等職員が参画する県域協議会(3回開催)を通じて事業の方向性等を確認しながら、権利擁護支援にあたる関係職員への意思決定支援の理解促進、成年後見の利用を促進する上での相談支援の実務に関する研修会を開催したほか、法人や市民を対象にした後見の担い手の育成にも取り組みました。また、県内3地区及び中核機関未設置ごとに地域会議を開催したほか、各自治体の課題や実情に応じて、中核機関を中心とした地域連携ネットワークの充実・強化に向けた理解促進を図るため、延べ4市町に対してアドバイザー派遣を行いました。

- 低所得世帯等の生活基盤を支える制度の一つである「生活福祉資金貸付事業」の貸付件数は、総合支援・福祉・教育の3資金合わせて112件となりました。

償還計画額に対する償還実績額の割合を示す償還率は、全体で8.73%と、前年度と比較して0.47ポイント低下しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯の資金需要に対応するため実施した特例貸付は、13件の償還猶予及び77件(約1,900万円)の償還免除を決定しました。償還開始から3年が経過する中で、償還率は全体で12.50%と、前年度と比較して5.4ポイント低下しています。また、借受人の生活実態や課題等を把握して適切な相談支援につなげるフォローアップ支援の取組として、秋田市内71件の自宅訪問を行いました。

- 地域福祉推進委員会において、各福祉関係団体から国・県・市町村に対して行ってきた政策要望、政策協議の結果及び以降の経過、現状分析について取りまとめ、それを踏まえて、各団体が捉えている福祉課題について改めて調査を行いました。

調査により把握した福祉課題をもとに、3 点の政策要望事項と 3 点の政策協議テーマを整理し、7 月に開催した「秋田県地域福祉行政懇談会」の場において、県と地域福祉推進委員会委員による要望活動及び意見交換を行ったほか、各市町村に対しても書面により要望・提言を行いました。

要望への回答や協議結果は本会広報誌や Web サイトでの公開を通じて関係者や一般県民に向けて発信し、福祉課題への理解促進を図りました。また、それらの内容については継続して状況を注視し、必要に応じて再度要望や協議を行うほか、新たな福祉課題の把握に継続して取り組み、行政と福祉関係者との協働の基盤づくりに向けた更なる調査研究や要望・提言等につなげていきます。

- 地域共生社会の実現に向けて重要となる「頼れる身寄りのいない高齢者等」を巡る様々な問題への対応について考え、これからの相談支援に活かすことを目的に「トータルケア推進会議」を開催し、88 名が参加しました。

地域住民一人ひとりが主体的かつ相互に支え合う地域づくりに向け、「地域で気になる人」と地域住民等の関係を「見える化」し、地域の福祉課題を把握する手段となる「支え合いマップ」づくりの実践を進めるため、指導者となるインストラクターの養成に取り組む「地域の福祉力向上事業」を実施し、5 名が修了しました。

「ネットワーク活動連携推進モデル事業」では、横手市、潟上市、八峰町をモデル社協に指定し、情報管理システム導入による既存の多様な見守り活動との効果的な連携の推進による小地域ネットワーク活動の充実・強化を図りました。

- 昨年度に設置した「地域福祉トータルケア推進事業検証委員会」において、地域共生社会の実現に向けて必要な「重層的支援体制整備事業」の実施や、全社協が策定した「社会福祉協議会基本要項 2025」など地域福祉を巡る動向を踏まえて秋田県地域福祉トータルケア推進事業要綱を改正し、「あきた共に生きる地域づくり推進事業」に名称変更して令和 8 年度から施行実施します。

- 「地域支援事業推進事業」では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で人との関わりを維持しながら自分らしい生活を営むことができるよう、生活支援体制整備事業の促進、自立支援型地域ケア会議の推進に向けた研修などを実施しました。また、生活支援体制整備事業の推進役を担う生活支援コーディネーターが効果的に活動を行うため、地域や関係機関とのネットワーク形成や介護予防に資する地域づくりに関する知見等の向上に向けた支援を行いました。

- 高齢者総合相談・生活支援センターでは、高齢者やその家族等が抱える心配ごとや悩みごとの相談、権利擁護相談など延べ 749 件に対応したほか、県民介護講座（187 名受講）や福祉用具等に関する研修（84 名受講）を実施し、県民の介護に関する知識と技術の習得を支援しました。なお、同センターは令和 7 年度末で県からの受託が終了し、令和 8 年 3 月 31 日付けで閉所しました。

- 重層的支援体制構築に向けた市町村への支援については、行政と社協の役職員を対象にセミナーを開催（79 名参加）し、重層事業を活用した被災者支援と災害ケースマネジメントについて理解を深めたほか、県内 5 地域（横手湯沢、能代山本、大館鹿角、秋田由利・大曲仙北、男鹿南秋）

で行政と社協が参画し、地域の特性に基づいた包括的支援体制の構築に向けて情報交換会を行いました。

《基本方針 2》 住民参加による地域づくり

- 地域共生社会の実現に向けた重要なツールの一つである福祉教育の推進に向けて、令和 6 年度に作成した「秋田県版福祉教育の手引書（ガイドブック）」の活用を図りつつ、教育や福祉関係者、地域住民の参画のもと、協同実践のできるプラットフォーム構築を担う福祉教育推進員の実践力を強化することを目的に「福祉教育推進セミナー」を開催し、27 名が参加しました。

県内の中学校・高等学校・特別支援学校の生徒が取り組むボランティア活動等の地域貢献活動を促進することを目的に、7 校（中学校 1、高等学校 5、特別支援学校 1）に対し助成を行い、その成果を広く周知するために実践発表会を開催し、34 名が参加しました。

- 子どもの居場所づくり等に取り組む団体等の連携や支援の強化を図るため、専任のコーディネーターを 1 名配置し、新規団体等への訪問・ヒアリングのほか、県内 7 地区において情報交換会を開催し、取組の現状と課題の把握や情報共有を行いました。

子どもの居場所を拡げていくため、活動を理解するための住民向け講座の開催や基礎的な情報を掲載したガイドブックを作成したほか、活動のノウハウを提供する助言者派遣などにより立ち上げを支援しました。また、企業等への訪問・連絡調整により、子ども食堂等に対する食材提供等の支援の呼びかけを行ったほか、県民・企業からの寄附・ボランティア活動希望の申し出に対し、団体等の意向を確認しながら寄附等 59 件、ボランティア 53 件の受入れを調整しました。加えて、株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの協定に基づくフードドライブ活動を新たに 7 市町で実施しており、今後はそれ以外の地域でも展開していきます。

秋田県が設置した「地域共生社会官民連携プラットフォーム」の会員として、市町村社会福祉協議会や NPO 法人等と連携・協働しながら孤独・孤立支援に向けて取組を進めていきます。

「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金」及び「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金」は、新規利用実績が全体で 3 件と少ない状況にあります。自立した生活を目指す人にとっては重要な制度であることから、引き続き関係機関等を通じた制度周知を図り、社会的な支援が必要な人の利用に結び付くよう取り組みます。

- 高齢者が住み慣れた場所で自立し生活を維持していくためには、生活習慣病等の発症や重症化の予防及び心身機能の低下の防止を図るフレイル予防が重要であることから、関係者で構成するフレイル予防検討委員会で協議を行うとともに各種事業に取り組みました。フレイル予防の取組として、e スポーツを活用した認知機能検査及び運動機能などの効果検証を秋田大学高齢者医療先端研究センターの協力を得て、県内 4 か所（秋田市 3 か所・由利本荘市）において実施したところ、処理能力や歩行速度が改善されるなど一定の効果が得られました。また、県内全域への e スポーツ普及に向けて 19 名のフレイル予防サポーターを養成したほか、広く県民や関係者の理解促進を図るため出前講座を延べ 26 回開催しました。

- 近年多発する自然災害に備え、平時からの体制整備を図るとともに、災害発生時に被災地支援関係者のコーディネートや、行政をはじめ関係機関との連携を図りながら調整を行う「秋田県災害福祉支援センター」を令和 7 年 5 月に設置し、災害に関連した各種研修を実施するとともに、8 月の大雨で被災した仙北市への継続的な支援や、令和 8 年 1 月の大雪で被害のあった県北部に必要なサポートを行いました。
- 地域における災害支援体制の構築に向け、災ボラ活動の経験がある人材を対象に「市町村災害ボランティアセンターサポーター養成研修」を実施（13 名参加）したほか、災害ボランティアセンターの運営に協力する住民ボランティアの養成を目的に「災害ボランティア活動実践研修会」を横手市、潟上市で開催（81 名参加）しました。

また、行政と社協が合同で実施する「災害ボランティア実地訓練」を三種町、小坂町、能代市で開催（151 名参加）するとともに、技術系ボランティア育成研修、事業継続計画（BCP）関連研修等を新たに実施しました。
- 被災地の避難所に避難している高齢者や障がい者等の災害時要配慮者の福祉ニーズに支援を行う「災害派遣福祉チーム（DWA T）」を派遣できるようチーム員の登録研修（46 名登録）やスキルアップ研修（44 名参加）を行ったほか、秋田県総合防災訓練等に参加しました。

また、全社協のモデル事業を活用し、災害派遣福祉チームの受援体制の検討や福祉避難所設置訓練等を行いました。
- 急速な高齢化の進行により認知症有病者の増加も予想されている中で、県及び秋田市からの受託事業の一部である中堅民生委員・児童委員研修では、各単位民児協の役員を主な対象に、認知症の基本的な知識や、地域住民やその家族を支援へつなげるための声のかけ方、見守りのポイントなどについて学ぶとともに、民生委員・児童委員活動について理解を深めることを主題として県内 4 地区で各 1 回開催し、合計 352 名が参加しました。
- 高齢者の生きがい・健康づくりの推進については、令和 7 年 10 月 18 日から 4 日間にわたって開催された第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会に本県から 104 名の選手団を派遣しました。また、秋田県版「いきいき長寿あきたねんりんピック」では、17 種目を開催し 1,614 名が参加したほか、関連イベントである「ねんりん美術展」では、81 名が出品した作品を 4 日間にわたって展示し観覧者 591 名を集めるなど、スポーツや文化活動を通じて社会参加の促進を図りました。
- 高齢者の健康寿命の延伸を図りつつ、交流の場を提供することを目的に、「ロングライフ講座」を県内 7 か所（大館市、潟上市、秋田市、能代市、北秋田市、横手市、湯沢市）で計 11 回開催し、延べ 120 名の参加がありました。

また、高齢者が活躍できる機会の創出・拡大を目的として、地域の課題解決や地域の活性化に資する活動やフレイル予防のための活動に取り組む 17 団体に対して助成を行い、高齢者が中心とな

って住民同士のつながりを広げる地域づくりを促進しました。

- 生活上の問題を抱える個人や世帯に対する個別支援と、それらの人々が暮らす地域における生活環境の整備や住民の組織化等の地域支援を一体的に展開できる人材を養成するため、コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修を前期・後期 2 回に分けて延べ 4 日間実施し、修了者は令和 7 年度末までの累計で 510 名となりました。

《基本方針 3》 福祉サービスの基盤づくり

- 福祉・介護を支える多様な人材を確保するため、厚生労働大臣の許可による無料職業紹介事業として運営する「福祉人材センター」において福祉・介護の業務に従事するための相談、求人・求職登録、求職者紹介及び資格取得方法に関する情報提供などを行うとともに、関係機関・団体の主催する人材確保関連イベントに積極的に参画し、福祉人材の確保とマッチングに努めました。窓口業務のほか、県内 3 地区（大館市・秋田市・横手市）に福祉人材キャリア支援専門員を配置し、福祉事業所への就労希望者の職業紹介と求人事業所に対する人材の確保支援の強化を図りました。

「ふくしのしごと総合フェア」は、福祉業界への就職を希望する学生や求職者と福祉事業所の担当者が直接面談できる貴重な機会として 2 回開催しました。

- 「介護人材確保対策事業」では、理学療法士を 30 事業所に派遣し身体的負担の少ない介護方法等について講義したほか、採用力の向上を目的としたセミナーや「エルダー・メンター制度」導入に向けたセミナーに加え、新人介護職員の定着を図る研修を開催するなど、福祉・介護事業所を対象とする各種支援事業を通じ、福祉・介護人材の確保支援と職場定着の促進に継続して取り組みました。

- 中長期的な視野に立った人材確保策として、「介護の職場体験事業」を引き続き行うとともに、小冊子「介護の仕事ハンドブック」を作成し県内高等学校の 1 年生等へ配布したほか、中学校の生徒やその保護者、教職員を対象に福祉の仕事の魅力を分かりやすく伝えるセミナーの開催や、就職や進学で福祉分野に関心のある高校生が福祉の仕事の現状を学ぶ「高校生の福祉の職場体験事業」を県内の福祉施設・事業所で実施するなど、福祉・介護の仕事に対する若年層の理解促進及び参入促進を図りました。

- 介護の仕事に興味を持つ人や就労意欲のある中高年世代、定年退職者、主婦層、学生などを対象に、「介護の入門的研修事業」を実施し、介護分野で働く際の不安解消を図り、多様な人材の介護職参入を促進しました。

- 介護福祉士養成校やハローワーク、福祉・介護事業所等の協力のもと、介護福祉士修学資金等貸付事業（介護福祉士等修学資金、介護福祉士実務者研修受講資金、離職介護人材再就職準備金の貸

付)と福祉系高校修学資金等貸付事業(福祉系高校修学資金、介護分野就職支援金、障害福祉分野就職支援金の貸付)を実施し、福祉・介護人材の確保や再就労支援等に努めました。このほか、県内外の保育士養成施設に在学する学生を対象に保育士修学資金貸付事業を実施し、保育士資格の新規取得の促進と県内における保育人材の確保に努めました。

- 秋田県から受託している福祉保健研修事業では、経験年数に基づく階層別研修や職域研修など、全 18 コース(27 回延べ開催日数 46 日)の研修を実施し、福祉保健従事者に求められる資質や専門性の向上、地域福祉推進・相談援助等の専門職として必要な知識・技術の習得を図りました。

受講総定員 1,545 名に対し、受講実人数は 1,037 名と定員を下回る結果になりましたが、研修受付システムを通じて繰り返し受講を呼びかけたほか、可能な限り受講者の受入れに努め、研修機会の提供・確保を図りました。

- 認知症介護研修及び自主企画研修事業(全 23 コース、29 回)では、認知症高齢者介護事業所の役職員を対象とした基礎研修や専門性の高い実践研修を実施したほか、虐待・ハラスメント防止研修や説明力強化研修、OJTリーダー研修など、福祉保健事業の現場での課題対応力向上、業務を円滑に進めていくスキルアップや職場環境づくりの促進に資する研修等を実施しました。受講総定員 1,702 名に対し、受講実人数は 1,384 名でしたが、福祉保健事業者や従事者の研修ニーズに応えられるよう、研修内容の充実に努めました。

- 介護職員等によるたんの吸引等研修事業では、特別養護老人ホーム等の施設及び居宅において、安全にたんの吸引等を行うことができるよう研修を実施し、受講人数は 152 名でした。また、たんの吸引等を行える登録特定行為事業者 14 施設、認定特定行為業務従事者 232 名の新規認定について対応しました。

- 介護支援専門員養成事業では、介護支援専門員の確保及び養成のため、実務研修受講試験を実施するとともに実務研修を行いました。研修の受講者数は 104 名で、受講修了者数は 103 名でした。実務研修の実施に当たっては、受講者の利便性向上のため、研修の内容に応じてオンライン研修と集合型研修を併用して実施しました。

- 福祉サービス利用者、家族等から来所・電話・FAX・メール等で「秋田県運営適正化委員会」に寄せられた苦情件数は 14 件(前年度 29 件)で、助言や他機関の紹介のほか、必要に応じて事情を調査し、その解決を図りました。また、各種相談や問い合わせが 20 件(前年度 35 件)あり、どこに相談していいのかわからない人の悩みに寄り添うとともに、必要に応じ、関係機関に繋げました。苦情解決事業では、引き続き利用者や家族等が苦情申し出を行いやすい環境づくりに努めるとともに、日常生活自立支援事業の運営監視についても事業の適切な運営を確保するため、第三者機関として機能の発揮に努めていく必要があります。

- 介護サービス情報の公表事業では、事業所から報告された介護サービス情報を訪問調査等によ

り確認し、1,878 件の事業所情報の公表を行い、利用者の事業所選択の参考とするとともに、介護サービスの質の向上を図りました。

- 社会福祉施設経営指導事業では、社会福祉法人や事業所の経営に関する一般相談・専門相談を通じ、60 件（前年度 56 件）の相談に対応しました。非常勤相談員による専門相談が 36 件、常勤相談員による一般相談が 24 件となっており、主な相談は、会計事務に関するものが 23 件、施設経営に関するものが 12 件、労使問題に関するものが 7 件などとなっています。相談は社会福祉法人に偏っていることから、県と連携しながら社会福祉法人以外の福祉施設経営者に対して事業の周知を図る必要があります。

《基本方針 4》 組織・経営基盤の強化

- 正副会長会議を 5 回、監事会を 2 回、理事会を 4 回、評議員会を 3 回、評議員選任・解任委員会を 2 回開催し、適正な組織運営の推進に努めました。
- 社会福祉法人が運営する事業所に限らず多くの事業所の加入促進に努め、一般会員 10 か所、賛助会員 4 か所から新たに会員登録いただきました。会員に対しては、広報「社会福祉あきた」やメールマガジンによる情報提供のほか、本会の自主企画研修の受講料や第三者評価の受審料の割引を行うなどして会員サービスの充実に努めました。
- 自主財源の確保に向け、火災共済、自動車共済やがん保険の加入促進、自動車リースの促進、常備薬の斡旋などを行いました。前年度に対し、自動車共済は 108 万円増収となったものの、火災共済については 182 万円減収となるなど手数料収入が減収となり、事業収入についても広告料収入以外は前年度を下回る結果となりました。厚生事業は、本会の自主財源の重要な柱になっていることから、引き続き会員の理解と協力により財源の確保に努めます。
- 秋田県社会福社会館の管理運営については、新規利用者の開拓に向けた企業等訪問、ダイレクトメールによる利用促進に努めましたが、大口利用者の予約キャンセルや大規模な会場から小規模な会場への利用変更などもあり、有料会議室の利用は前年度よりも減っており、利用料収入は約 163 万円減収になったほか、人件費の上昇や設備運転管理委託費の高騰などの影響を受け、経常増減差額は昨年度に引き続きマイナスとなりました。
次年度から指定管理者が変更となることで本会による会館管理運営は終えるものの、運営上の課題やこれまで培ってきたノウハウを引き継ぐなどして、引き続き安全で利用しやすい会館運営に協力していきます。
- 従来の「職員業務目標評価、能力評価実施要領」を「職員人事評価実施要領」に改め、職員が職務上達成した成果や職務遂行において発揮した能力を客観的に評価して人事管理を行うことで、

組織目標の達成に向け職員の能力を最大限活用することを目指すと同時に、職員のヒアリング等を通じて意識改革や業務改善が進むよう努めました。また、職員の専門性確保のため資格取得の支援を行い、1名が社会福祉士を取得したほか、県との人事交流を通じ、組織の活性化と職員の資質向上を図りました。

3 事業内容

《基本方針1 地域共生のための体制づくり》

推進項目1 地域づくり活動の基盤整備

＜事業項目1 地域における支え合いの仕組みづくりの推進＞

1 トータルケア推進会議の開催【共同募金助成事業】

期 日 令和8年2月17日(火)

会 場 パーティーギャラリーイヤタカ

参加者 88名

内 容 講義 「身寄りのない人の困りごととは」

グループワーク 「身寄りのない人を支援するために」

講師 特定非営利活動法人身寄りなし問題研究会 代表理事 須貝秀昭 氏

2 ネットワーク活動連携推進モデル事業の実施【共同募金助成事業】

小地域ネットワーク活動の充実・強化に向けて、以下の社会福祉協議会をモデル指定し、情報管理システムの導入により相談支援業務の効率化を図り、ネットワーク会議の開催や民生委員等との情報共有など連携した。

モデル指定 横手市社会福祉協議会（新規）

潟上市社会福祉協議会（継続）

八峰町社会福祉協議会（継続）

3 地域の福祉力向上事業【共同募金助成事業】

(1) 地域の福祉力強化研修（支え合いマップインストラクター養成講座）

期 日 令和7年8月28日（木）～29日（金）、11月17日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 5名

内 容 講義・演習

講 師 淑徳大学総合福祉学部 教授 菅野道生 氏

4 善意銀行の運営

(1) 金銭・物品の預託の受け入れ、調整、払出し

〔金銭預託状況〕 預託件数 8件 預託金額 1,523,861円

〔金銭払出状況〕 払出件数 6件 払出金額 1,510,861円

あきた子ども応援ネットワーク登録団体へ 4件（12か所）

〔物品預託状況〕

預託件数 5件

（預託物品）

トイレットペーパー (4,000 個)
車椅子 (自走式 10 台、リクライニング式 10 台)
点字カレンダー (180 部)
自走式車椅子 (10 台)
カレンダー (50 部)

〔物品払出状況〕

物品払出件数 60 件

(払出先)

県内社会福祉施設等	27 件
県内市町村社会福祉協議会	28 件
県内社会福祉団体等	5 件

(2) 広報

「社会福祉あきた」へ掲載

贈呈式の様子をフェイスブックへ投稿

(3) その他助成・奨励事業の情報提供・斡旋

民間社会福祉助成事業の紹介

ホームページへの掲載・周知

福祉関係者への助成・車両寄贈の寄贈先の調整

生命保険協会秋田県協会からの寄贈

市町村社会福祉協議会 1 か所へ車両 1 台

障害者福祉施設 3 か所へ各 100,000 円

子ども食堂支援 2 か所へ各 50,000 円

5 共同募金運動への協力

広報「社会福祉あきた」への掲載

ホームページへの掲載

メールマガジン等を通じた普及・啓発

赤い羽根共同募金広域助成交付書伝達式への係員派遣

赤い羽根共同募金広域助成公開プレゼンテーションへの係員派遣

赤い羽根共同募金運動街頭募金への参加

<事業項目2 民生委員・児童委員活動への支援>

1 民生委員・児童委員の資質向上

(1) 民生委員児童委員協議会会長研修

期 日 令和7年10月24日(金)

会 場 ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)

参加者 126名(他、市町村民児協事務局職員2名参加)

内 容 ①周知事項「大雨に関する防災気象情報の利活用」

秋田地方気象台 防災指導係職員

②講義・演習「委員活動・民児協活動の引継ぎ・発展に向けて
～令和10年改選までの36か月の組織的活動～」

講師 一般社団法人 Wellbe Design

理事長 篠原辰二 氏

(2) 民生委員児童委員協議会新任会長研修

期 日 令和8年2月6日(火) ※オンライン併用(全県対象)

会 場 秋田県社会福祉会館(秋田市)他、各オンライン受講会場

参加者 41名(県会場38名、オンライン会場3名)

内 容 ①基調説明「委員活動及び民児協活動を支える取組について」

秋田県民生児童委員協議会事務局

②講義「地域を取り巻く課題と民児協組織におけるリーダーの役割」

演習「民児協組織の機能強化に向けた定例会の在り方について」

講師 八戸学院大学 健康医療学部

学部長・教授 吉田守美 氏

(3) 中堅民生委員・児童委員研修会

<秋田市>

期 日 令和7年9月11日(水)

会 場 パーティーギャラリーイヤタカ(秋田市)

参加者 85名

<県南地区>

期 日 令和7年9月19日(木)

会 場 横手市十文字地区交流センター(横手市)

参加者 74名

<県北地区>

期 日 令和7年9月10日(火)

会 場 ルネッサンスガーデンプラザ杉の子(大館市)

参加者 67名

<県央地区>

期 日 令和7年9月18日(水)

会 場 パーティーギャラリーイヤタカ(秋田市) ※オンライン併用(全県対象)

参加者 136名(会場42名、オンライン94名)

【共通】

内 容 講義「認知症の理解と対応」

特定非営利活動法人 ホームホスピス秋田

理事長 中村順子 氏

(4) 新任民生委員・児童委員ステップアップ研修〔事例学習編〕

＜県南地区＞

期 日 令和7年7月3日（木）

会 場 横手市十文字地区交流センター（横手市）

参加者 91名

＜秋田市＞

期 日 令和7年7月8日（火）

会 場 秋田キャッスルホテル（秋田市）

参加者 104名

＜県央地区＞

期 日 令和7年7月25日（金） ※オンライン併用（全県対象）

会 場 パーティーギャラリー イヤタカ（秋田市）他、各オンライン受講会場

参加者 253名（県会場24名、オンライン会場229名）

＜県北地区＞

期 日 令和7年7月30日（水）

会 場 ルネッサンスガーデンプラザ杉の子（大館市）

参加者 51名

【共通】

内 容 事例学習「生活課題を抱える地域住民への支援について」

講 師 特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山正弘 氏（県南）

複合老人福祉施設リンデンバウムいずみ 事務次長 保泉拓 氏（秋田市）

社会福祉法人ファミリーケアサービス 法人事務局課長 小林悠希 氏（県央）

大館市社会福祉事業団 本部事務局長 伊藤政利 氏（県北）

2 民生委員互助共励事業の実施

(1) 弔慰金及び見舞金等の給付

給付内容	公務傷害	一般死亡	配偶者死亡	一般傷病	災害見舞	退任慰労
件数	0件	10件	19件	61件	2件	659件
金額	0円	300,000円	190,000円	594,000円	100,000円	3,477,000円

(2) 指定民生委員児童委員協議会の育成

民児協名	活 動 の 重 点	現地訪問	会場
男鹿市若美地区 民生児童委員協議会	・高齢者世帯等への一斉訪問 ・地域住民向け講演会の開催	令和7年 6月15日（日）	若美コミュニ ティセンター
鹿角市八幡平地区 民生児童委員協議会	・地区の福祉ネットワークの構築 ・全戸チラシ配布による活動周知	令和7年 4月21日（月）	八幡平市民セン ター

(3) 児童委員活動研修会

期 日 令和 7 年 8 月 27 日 (水) ※オンライン併用 (全県対象)

会 場 秋田キャッスルホテル (秋田市) 他、各オンライン受講会場

参加者 253 名 (会場 97 名、オンライン 156 名)

内 容 ①講義「子育て中の女性が抱える課題から考える」

講師 秋田大学医学部附属病院 産科婦人科 藤嶋明子 氏

②実践発表「民児協による子育て支援活動について」

a) 「子育てサロンの開催と子育て家庭への訪問について」

秋田市川尻地区民児協 民生委員・児童委員 佐々木和佳子 氏

b) 「福祉教育等へのかかわりを通じた地域づくりについて」

湯沢市湯沢地区民児協 会長 岩堀茂仁 氏

(4) 生活福祉資金担当民生委員及び市町村社協担当職員合同研修会 (別掲)

<事業項目 3 市町村社会福祉協議会の体制強化>

1 市町村社協の支援

(1) 個別支援の実施【共同募金助成事業】

実施延回数 153 回

(2) 市町村社協状況調査の実施

市町村社協の事業活動等の現状を基礎データとして把握・整備し、支援につなげた。

(3) 市町村社会福祉協議会連絡協議会の支援

①総会

第 1 回 日 時 令和 7 年 7 月 30 日 (水)

会 場 オンライン

参加者 18 名

内 容 令和 6 年度事業報告及び収支決算、令和 7 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案)、県社協評議員候補者の推薦について

②監事会

日 時 令和 7 年 5 月 29 日 (木)

会 場 秋田県社会福祉会館

③正副会長会議

日 時 令和 7 年 5 月 29 日 (木)

会 場 秋田県社会福祉会館

④企画委員会

第 1 回 日 時 令和 7 年 5 月 13 日 (火)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 7 名

第 2 回 日 時 令和 7 年 12 月 15 日 (月)

会 場 オンライン

参加者 6 名

⑤会長会議

日 時 令和 8 年 2 月 5 日 (木)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 18 名
内 容 情報交換Ⅰ「最低賃金改定や人件費上昇に対する対応について」
情報交換Ⅱ「地域福祉事業の今後について」

⑥職員交流研修会 (新人・中堅職員)

日 時 令和 7 年 11 月 18 日 (火) ～19 日 (水)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 11 名
内 容 講義「協働の推進、地域における元気ムラ活動について」
県地域づくり推進課
意見交換・情報交換

(4) 地域福祉担当情報交換会の実施 (オンライン情報交換会)

第 1 回 日 時 令和 7 年 6 月 13 日 (金)
内 容 各社協の重点的に取り組む事業や新たな取組について
第 2 回 日 時 令和 7 年 9 月 2 日 (火)
内 容 災害ボランティアセンター設置・運営に関する協定等について
第 3 回 日 時 令和 8 年 1 月 19 日 (月)
内 容 生活支援体制整備事業の取組状況について

2 地域福祉推進体制強化のための会議の開催

(1) 市町村社協会長・事務局長合同会議

期 日 令和 7 年 8 月 25 日 (月) ～26 日 (火)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 54 名 (市町村社協 43 名、県社協 11 名)
内 容 基調説明
会長・事務局長分科会
実践発表・対談「これからの社会福祉協議会の経営戦略について
～黒字への転換を実現した取組に学ぶ」
全社協「市区町村社協介護サービス経営検討委員会」委員
青森県藤崎町社会福祉協議会 事務局長 成田全弘 氏
長野県南箕輪村社会福祉協議会 事務局次長 唐木雅彦 氏
情報交換

(2) 市町村社協事務局長等会議

期 日 令和 8 年 2 月 25 日 (水)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 32 名 (市町村社協 23 名、県社協 9 名)

内 容 事業説明「秋田県社会福祉協議会の令和8年度重点事業等について」
秋田県社会福祉協議会 各部部長
情報交換

推進項目2 包括的支援体制の構築

<事業項目1 日常生活自立支援事業の適正利用の推進>

1 日常生活自立支援事業の実施

(1) 契約締結審査会

期 日 12回開催（毎月1回）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 契約締結申請ケースの審査

(2) 市町村福祉生活サポートセンターの機能強化及び専門員・生活支援員の資質向上

① 専門員連絡会議

期 日 12回開催（毎月1回）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 連絡調整、申請ケースについて質疑応答

② 専門員研修会

期 日 令和7年5月30日（金）
会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
参加者 19名
内 容 事務手続きについて、専門員実践報告

③ 専門員実践力強化研修会（全国社会福祉協議会主催）への参加経費助成

ア 基本研修（オンデマンド配信）

配信期間 令和7年10月上旬～令和7年2月末
参 加 者 2名（新任の専門員、基本的な内容の復習を希望する専門員）
主な内容 講義「専門員の役割、対人援助の基礎知識」他

イ 初任者研修（オンデマンド配信＋事前学習動画配信＋ハイブリッド研修）

配信期間 令和7年10月上旬～令和7年2月末
期 日 令和7年11月20日（木）
参加者 7名（専門員としての業務経験が満2年未満の職員）
内 容 事例検討

ウ 現任者研修（オンデマンド配信＋集合研修）

期 日 令和8年1月26日（月）～1月27日（火）
参加者 2名（専門員としての業務経験が満2年以上の職員）
内 容 実践報告、事例検討

④ 生活支援員研修会

県央地区 期 日 令和7年10月28日（火）
会 場 秋田県生涯学習センター（秋田市）

参加者 生活支援員 18 名、社協職員 10 名

内 容 説明「事業の状況と生活支援員の役割等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
講義・グループワーク

「地域包括ケアシステムにおける生活支援員の重要性」

講師 秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻

助教 藤田智恵 氏

県南地区 期 日 令和 7 年 11 月 11 日（火）

会 場 秋田県立近代美術館（横手市）

参加者 生活支援員 26 名、社協職員 10 名

内 容 説明「事業の状況と生活支援員の役割等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
講義・グループワーク

「地域包括ケアシステムにおける生活支援員の重要性」

講師 秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻

助教 藤田智恵 氏

県北地区 期 日 令和 7 年 11 月 13 日（木）

会 場 能代山本広域交流センター（能代市）

参加者 生活支援員 24 名、社協職員 16 名

内 容 説明「事業の状況と生活支援員の役割等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
講義・グループワーク

「地域包括ケアシステムにおける生活支援員の重要性」

講師 秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻

助教 藤田智恵 氏

(3) 日常的金銭管理サービス実施状況調査及び事務取扱状況調査

調査回数 33 回

市 町 村	第 1 回調査日	第 2 回調査日
秋 田 市	令和 7 年 9 月 26 日（金）	令和 8 年 1 月 20 日（火）
能 代 市	令和 7 年 7 月 11 日（金）	令和 8 年 2 月 12 日（木）
横 手 市	令和 7 年 8 月 28 日（木）	令和 8 年 2 月 27 日（金）
大 館 市	令和 7 年 7 月 31 日（木） 8 月 1 日（金）	令和 8 年 2 月 3 日（火） 4 日（水）
男 鹿 市	令和 7 年 12 月 5 日（金）	—
湯 沢 市	令和 7 年 9 月 30 日（火）	令和 8 年 3 月 13 日（金）
鹿 角 市	令和 7 年 9 月 1 日（月）	令和 8 年 3 月 6 日（金）
由利本荘市	令和 7 年 11 月 28 日（金）	—
潟 上 市	令和 7 年 12 月 5 日（金）	—
大 仙 市	令和 7 年 8 月 5 日（火）	令和 8 年 1 月 8 日（木）
北 秋 田 市	令和 7 年 7 月 2 日（水）	令和 8 年 3 月 5 日（木）

にかほ市	令和7年11月28日（金）	—
仙北市	令和7年8月8日（金）	令和8年3月2日（月）
小坂町	令和7年9月1日（月）	—
上小阿仁村	—	—
藤里町	令和7年10月30日（木）	—
三種町	令和7年7月23日（水）	令和8年1月27日（火）
八峰町	令和7年10月30日（木）	—
五城目町	令和7年10月8日（水）	—
八郎潟町	令和7年10月8日（水）	—
井川町	令和7年10月8日（水）	—
大潟村	—	—
美郷町	令和7年8月8日（金）	—
羽後町	令和8年2月27日（金）	—
東成瀬村	—	—

(4) 相談等の実施状況

① 相談受付状況（県内市町村福祉生活サポートセンター実績）

相談件数 16,780 件

内 訳	認知症高齢者関係相談	9,615 件
	知的障害者関係相談	2,920 件
	精神障害者関係相談	3,961 件
	その他相談	284 件

② 契約締結の状況

契約件数 172 件

内 訳	認知症高齢者	123 件
	知的障害者	17 件
	精神障害者	30 件
	その他	2 件

③ 解約の状況

解約件数 142 件

内 訳	認知症高齢者	104 件
	知的障害者	10 件
	精神障害者	24 件
	その他	4 件

④ 実利用件数

契約件数 674 件

内 訳	認知症高齢者	437 件
	知的障害者	91 件
	精神障害者	138 件
	その他	8 件

＜事業項目 2 権利擁護センター設置の推進＞

1 権利擁護支援の体制構築モデル事業の実施【共同募金助成事業】

モデル指定 潟上市社会福祉協議会

上小阿仁村社会福祉協議会

(1) 推進委員会

第1回 期 日 令和7年7月10日（木）

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 モデル社協における達成目標と事業計画
アドバイザーによる現地指導

第2回 期 日 令和7年12月15日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 モデル社協における進捗状況の確認

第3回 期 日 令和8年3月25日（水）

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 モデル社協における事業実施状況
（事業実施状況の報告、成果、課題及び今後の目標）
次年度の県及び県社協における取組予定

(2) アドバイザーによる現地指導等

潟上市社協

第1回 期 日 令和7年11月28日（金）

会 場 潟上市市民センター昭和館（潟上市）

内 容 後見業務の実際、福祉との連携について

＜事業項目 3 成年後見制度の利用促進＞

1 成年後見制度利用促進事業の実施

(1) 成年後見制度利用促進実務研修会

期 日 令和7年8月27日（水）

会 場 アキタパークホテル（秋田市）

参加者 58名（中核機関4、行政14、社協8、包括21、相談支援事業所8、基幹相談
支援3）

内 容 講義Ⅰ「相談から利用支援（申立の支援を含む）」

講師 秋田市社会福祉協議会 権利擁護センター長 永田泉 氏

秋田家庭裁判所 裁判所書記官 谷田部明子 氏

秋田家庭裁判所 裁判所書記官 菅原拓 氏

講義Ⅱ「市町村長申立ての流れとポイント」

講師 湯沢市地域包括支援センター 主幹 佐藤由紀子 氏

講義・グループワーク「後見開始後の実務上の課題」

講師 成年後見センター・リーガルサポート秋田支部 柴田緑 氏

(2) 市町村等の体制整備に向けた巡回支援（アドバイザー派遣による巡回支援）

①能代市社会福祉協議会

期 日 令和7年7月28日（月）
派遣者 秋田市社会福祉協議会 永田泉 氏
参加者 4市町（能代市・藤里町・三種町・八峰町）社協職員、中核機関担当者等
内 容 成年後見制度申立書類作成について

②にかほ市

期 日 令和7年11月4日（火）
派遣者 鹿角市社会福祉協議会 浅水和也 氏
参加者 にかほ市成年後見制度利用促進委員会委員、福祉専門職等
内 容 成年後見制度と地域連携ネットワークについて

③にかほ市

期 日 令和8年2月16日（月）
派遣者 三種町社会福祉協議会 小野真美 氏、京玲那 氏
参加者 にかほ市内の高齢・障害関係の事業者、市役所福祉課職員等
内 容 成年後見制度と日常生活自立支援事業について

④八峰町社会福祉協議会

期 日 令和8年2月27日（金）
派遣者 鹿角市社会福祉協議会 浅水和也 氏
参加者 4市町（能代市・藤里町・三種町・八峰町）行政及び社協職員
内 容 権利擁護支援と身元保証サービスについて

(3) 関係団体等との連携支援会議

①県域会議

第1回 期 日 令和7年5月15日（木）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 令和6年度事業及び市町村の体制整備状況、令和7年度事業について

第2回 期 日 令和7年8月21日（木）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 市民後見人養成研修について、地域協議会の進め方について

第3回 期 日 令和8年3月10日（火）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 令和7年度事業の実施状況、令和8年度事業について

②地域会議

〔県央地域〕

期 日 令和7年12月18日（木）
会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア（秋田市）
内 容 市町村の取組の現状と課題について

〔県南地域〕

期 日 令和7年12月23日（火）
会 場 平鹿農村環境改善センター（横手市）
内 容 市町村の取組の現状と課題について

〔県北地域〕

期 日 令和8年1月14日（水）
会 場 北秋田市民ふれあいプラザコムコム（北秋田市）
内 容 市町村の取組の現状と課題について

〔中核機関未設置〕

期 日 令和8年2月9日（月）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 中核機関設置に向けた取組と課題等について、中核機関設置の取組の共有について（井川町）

(4) 意思決定支援研修会

期 日 令和7年12月3日（水）
会 場 秋田市民交流プラザ（秋田市）
参加者 72名（中核機関3、権利擁護センター2、行政4、社協12、包括10、相談支援事業所等23、高齢者・障害者福祉施設17、その他1）
内 容 講義・グループワーク「意思決定支援をふまえた後見事務のガイドライン」
講師 秋田弁護士会 高齢者・障害者問題対策委員長 藤原美佐子 氏
権利擁護センターぱあとなあ秋田 小林悠希 氏

(5) 市民後見人養成研修（実践研修）

1日目 期 日 令和7年10月24日（金）
会 場 〔県北〕能代山本広域交流センター（能代市）
〔県央〕秋田県社会福祉会館
内 容 1限 開講式、「秋田県の現状と市民後見人に求めるもの」
秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課
2限 「基礎研修の振り返り」
権利擁護センターぱあとなあ秋田 伊藤幹子 氏
3限 「市民後見人に必要な倫理と行動規範」
権利擁護センターぱあとなあ秋田 佐藤由紀子 氏
4限 ①「身上保護」
権利擁護センターぱあとなあ秋田 浅水和也 氏
②「財産管理」
成年後見センター・リーガルサポート秋田支部
三浦修 氏

2日目 期 日 令和7年11月7日（金）
会 場 〔県北〕能代山本広域交流センター（能代市）

〔県央〕秋田県社会福祉会館

内 容 1 限 「家庭裁判所の役割」

秋田家庭裁判所 主任書記官 石川雅喜 氏

2 限 「関係制度・法律」

秋田弁護士会 笈川正典 氏

3 限 課題演習「権利擁護について」

権利擁護センターぱあとなあ秋田 相馬達也 氏

伊藤幹子 氏

3 日 目 期 日 令和7年11月15日（土）

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 1・2 限 グループワーク「意思決定支援について」

権利擁護センターぱあとなあ秋田 小林悠希 氏

3 限 「市民後見活動の実際」

三種町社会福祉協議会 小野真美 氏

4 限 グループワーク「研修を終えて」

秋田県社会福祉協議会

5 限 振り返り・閉講式

秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課

修了者 52 名

(6) 法人後見受任体制構築支援（全3回）

申請者 特定非営利活動法人トラストつなぐ

派遣者 秋田弁護士会 笈川正典 氏

第1回 期 日 令和7年8月4日（月）

会 場 トラストつなぐ（潟上市）

内 容 達成目標と取組計画・課題等の確認、今後の進め方についての助言

第2回 期 日 令和7年12月10日（水）

会 場 トラストつなぐ（潟上市）

内 容 進捗状況、課題等の確認

第3回 期 日 令和8年2月18日（水）

会 場 オンライン

内 容 年間の総括、次年度に向けた協議

<事業項目4 生活困窮者支援の強化>

1 生活福祉資金貸付の推進

(1) 生活福祉資金運営委員会

原則として毎月1回開催し、新規申込、支払猶予、延滞利子免除等の審査を行った。

(11回開催)

(2) 生活福祉資金の貸付状況等（本則分）

◆申請及び貸付決定状況

＜総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、臨時特例つなぎ資金＞

区 分		件数(件)	金額(円)
総合支援資金	申 請	9(9)	3,423,000
	決 定	6(6)	1,715,000
福祉資金(福祉費)	申 請	40(7)	15,761,527
	決 定	31(4)	10,480,867
福祉資金(緊急小口資金)	申 請	49(19)	3,950,000
	決 定	42(18)	3,340,386
教育支援資金	申 請	32(2)	35,961,124
	決 定	32(2)	34,947,136
臨時特例つなぎ資金	申 請	1(1)	50,000
	決 定	1(1)	50,000
合 計	申 請	131	59,145,651
	決 定	112	50,533,389

※()は自立相談支援事業を利用した件数

※生活復興支援資金は申請なし

＜不動産担保型生活資金＞

※不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金の申請・決定なし

◆支払猶予の状況

資金種類	申請件数(件)	決定件数(件)
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	6	6
不動産担保型生活資金	1	1
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	1
合 計	8	8

◆延滞利子免除の状況

区 分		件数(件)	金額(円)
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	申 請	2	302,971
	決 定	2	302,971
不動産担保型生活資金	申 請	0	0
	決 定	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	申 請	0	0
	決 定	0	0
合 計	申 請	8	302,971
	決 定	8	302,971

◆償還免除の状況

区 分		件数(件)	金額(円)
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	申 請	58	53,958,565
	決 定	57	53,047,378
不動産担保型生活資金	申 請	0	0
	決 定	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	申 請	0	0
	決 定	0	0
臨時特例つなぎ資金	申 請	1	50,020
	決 定	1	50,020
合 計	申 請	60	55,408,780
	決 定	59	54,497,593

(3) 生活福祉資金の貸付状況等（新型コロナ特例分）

◆償還猶予の状況

資金種類	申請件数(件)	決定件数(件)
緊急小口資金	1	1
総合支援資金（初回）	4	4
総合支援資金（延長）	1	1
総合支援資金（再）	7	7
合 計	13	13

◆償還免除の状況（元金のみ）

区 分		件数(件)	金額(円)
緊急小口資金	申 請	53	6,226,430
	決 定		
総合支援資金(初回)	申 請	13	6,550,030
	決 定		
総合支援資金(延長)	申 請	3	1,790,000
	決 定		
総合支援資金(再貸付)	申 請	8	4,330,000
	決 定		
合 計	申 請	77	18,896,460
	決 定		

(4) 現地償還指導

①現地個別償還指導

滞納世帯の生活状況把握と自立に向けた支援を目的に、市町村社会福祉協議会の協力のもと、借受世帯等の自宅を訪問し、現地指導を行った。

対象：18市町及び県社協扱いケース（1,003件）

②初期滞納世帯への指導

償還期間が始まって間もない時期に滞納が続く世帯に対し、文書による注意喚起を（95件）行うとともに、状況把握に努めた。

(5) 債権管理の強化推進

①顧問弁護士の指導・協力による長期滞納世帯の実態把握

償還残額通知の発行(年2回)

本則分：2,323件、特例分：694件 計：3,017件

滞納に対する督促状の発行(年2回)

本則分：4,046件、特例分：1,850件 計：5,896件

行方不明者の住所追跡（住民票の取得）

本則分：197件、特例分：91件 計：288件

内容証明郵便による通知の送付

8件

②要保護世帯向け不動産担保型生活資金の不動産売却に向けた対応

任意売却による償還完了

1件

◆償還状況（本則分）

<総合支援資金、福祉資金、教育支援資金>

区 分			償還計画(円) (償還免除を含む)	償還実績(円) (償還免除を除く)	償還率(%)
健全償権	償還 期限内	当年度	48,064,121	37,660,847	78.36
		過年度	17,174,215	3,884,830	22.62
	償還期限後		45,969,993	5,667,115	12.33
	小 計		111,208,329	47,212,792	42.45
長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	10,265,518	467,560	4.55
		過年度	67,608,395	2,905,805	4.30
	償還期限後		656,326,763	23,194,839	3.53
	小 計		734,201,676	26,568,204	3.62
合 計			845,410,005	73,780,996	8.73

<不動産担保型生活資金>

区 分		貸付額	償還額 ※元金のみ	免除額 ※元金のみ
不動産担保型 生活資金	件数(件)	0	0	0
	金額(円)	0	0	0
要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	件数(件)	1	1	0
	金額(円)	3,368,000	3,368,000	0
合 計	件数(件)	1	1	0
	金額(円)	3,368,000	3,368,000	0

<臨時特例つなぎ資金>

区 分			償還計画(円) (償還免除を含む)	償還実績(円) (償還免除を除く)	償還率(%)
健全 債権	償還 期限内	当年度	49,980	49,980	100.00
		過年度	0	0	—
	償還期限後		20	20	100.00
	小 計		50,000	50,000	100.00
	長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	0	0
過年度			0	0	—
償還期限後		726,880	50,020	6.88	
小 計		726,880	50,020	6.88	
合 計			776,880	100,020	12.87

◆償還状況（特例分）

<緊急小口資金、総合支援資金>

区 分			償還計画(円) (償還免除を含む)	償還実績(円) (償還免除を除く)	償還率(%)
健全債権	償還 期限内	当年度	44,443,270	11,123,550	25.03
		過年度	26,117,020	2,775,048	10.63
	償還期限後		93,022,963	6,546,776	7.04
合 計			163,583,253	20,445,374	12.50

(6) 生活福祉資金担当民生委員並びに市町村社協担当職員合同研修会

①生活福祉資金担当民生委員並びに市町村社協担当職員合同研修会

期 日 令和8年2月13日（木）

会 場 ホテルメトロポリタン秋田（秋田市）

参加者 157 名

内 容 基調説明

「生活福祉資金貸付制度と生活福祉資金担当民生委員の役割について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

講義

「生活福祉資金貸付事業を通じた民生委員・児童委員の見守りと相談支援」

講師 横浜創英大学 こども教育学部 准教授 平野友康 氏

2 特例貸付におけるフォローアップ支援の推進

(1) 借受人世帯の生活状況等の把握

滞納世帯の生活状況把握を目的に、市町村社会福祉協議会の協力のもと、借受世帯等の自宅を訪問した。(71 件)

(2) 生活困窮者自立支援制度に係る社協連絡会

(令和 7 年度生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援推進研修会を兼ねる)

期 日 令和 7 年 12 月 8 日 (月)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 28 名

内 容 説明「生活福祉資金貸付事業の動向等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

事例発表「借受人に対するフォローアップ支援の取組について」

発表者 秋田市社会福祉協議会 総務管理課 藤原浩司 氏

鹿角市社会福祉協議会 地域福祉課 青山梨菜 氏

仙北市社会福祉協議会 地域福祉課 大山隼都 氏

三種町社会福祉協議会 相談支援課 斉藤康子 氏

情報共有「各市町村のフォローアップ支援の取組状況について」

3 その他

生活福祉資金貸付制度に関する研修・学習会への協力

令和 7 年 7 月 22 日 (火) 八郎潟町民生児童委員協議会定例会

令和 7 年 9 月 5 日 (金) 家計改善支援に関する研修会 (由利本荘市)

<事業項目 5 地域包括ケアシステムの推進>

1 地域支援事業推進事業の実施

(1) 生活支援体制整備推進事業

①生活支援コーディネーター活動支援集合研修

基礎編

期 日 令和 7 年 6 月 26 日 (木)

会 場 秋田県 JA ビル(秋田市)

参加者 40 名

内 容 講義・演習「改正地域支援事業実施要綱における生活支援体制整備事業の役割」

講師 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 政策推進部副部長
国際長寿センター（ILC-Japan） 中村一朗 氏

実践編

期 日 令和 7 年 11 月 27 日（木）

会 場 秋田県 JA ビル（秋田市）

参加者 36 名

内 容 講義・演習「生活（外出）支援サービス・取組みの創出に向けて、協議体実践事例」

講師 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 政策推進部副部長
国際長寿センター（ILC-Japan） 中村一朗 氏

②生活支援コーディネーター活動伴走支援事業

・SC ヒアリング

期 日 令和 7 年 6 月 2 日（月）

対 象 小坂町、大館市

内 容 R6 年度アンケートで情報提供希望のあった SC に、視察や研修の企画内容をヒアリング

・第 1 回

外出支援視察 大館市 SC 支援

期 日 令和 7 年 11 月 12 日（水）

参加者 6 名（大館市内各地区の SC）

内 容 NP0 法人北秋田ハッピーデリバリーの外出支援について視察

・第 2 回

買い物支援視察 三種町 SC 支援

期 日 令和 7 年 11 月 13 日（木）

参加者 8 名（三種町 SC、社協職員、協議体委員）

内 容 NP0 法人 kurasu の実施する買い物支援（移動支援）について視察

・第 3 回

買い物代行サービス視察 小坂町 SC 支援

期 日 令和 7 年 11 月 20 日（木）

参加者 2 名（小坂町 SC）

内 容 住民団体ひないホッとライフの行う買い物代行サービスについて視察

・第 4 回

生活支援コーディネーター情報交換会 県南会場

期 日 令和7年12月12日(金)
会 場 横手市交流センター/Y2 ふらざ(横手市)
参加者 7名
内 容 「SCってどんな仕事？」をテーマに情報交換を実施
講師 合同会社秋田まちとケア協働舎 代表 鈴木のぞみ 氏

・第5回

生活支援コーディネーター情報交換会 県北会場
期 日 令和7年12月19日(金)
会 場 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム(北秋田市)
参加者 14名
内 容 「SCってどんな仕事？」をテーマに情報交換を実施
講師 合同会社秋田まちとケア協働舎 代表 鈴木のぞみ 氏

・第6回

生活支援コーディネーター情報交換会 県央会場
期 日 令和8年1月16日(金)
会 場 本荘由利産学共同研究センター(由利本荘市)
参加者 6名
内 容 「SCってどんな仕事？」をテーマに情報交換を実施
講師 合同会社秋田まちとケア協働舎 代表 鈴木のぞみ 氏

・第7回

個別支援についての打合せ 横手市
期 日 令和8年3月11日(水)
会 場 横手市社会福祉協議会(横手市)
参加者 6名(横手市役所・横手市社協SC)
内 容 講師による伴走支援希望市町村において、事前打合せを実施
講師 医療経済研究機構 政策推進部副部長 中村一朗 氏

・第8回

移動支援講座 オンライン
期 日 令和8年3月12日(木)
参加者 48名(SC・市町村・地域包括支援センター・社協職員等)
内 容 移動支援講座と個別相談会を実施
講師 NPO 法人全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎民子 氏

③生活支援コーディネーター情報交換促進事業

配信 概ね月1回

(2)自立支援・介護予防普及啓発事業

①介護予防・日常生活支援総合事業の充実のための行政職員セミナー

期 日 令和7年7月8日(火)
会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 40 名

内 容 行政説明「介護予防・日常生活支援総合事業の充実のポイントについて」

講師 厚生労働省 東北厚生局 健康福祉部地域包括ケア推進課

地域包括ケア推進官 相澤裕介 氏

講演「総合事業フルモデルチェンジに必要な“地域デザイン”とは」

講師 稲城市役所福祉部高齢福祉課高齢福祉係

係長 荒井崇宏 氏

②自立支援型地域ケア会議による事業間連動促進事業

第 1 回・第 2 回

自立支援型地域ケア会議研修（ワークショップ）

期 日 令和 7 年 12 月 1 日（月）、2 日（火）

会 場 三種町地域福祉センター（三種町）、勝栄会館（由利本荘市）

参加者 計 12 名

内 容 サロン見学、講義、ワークショップ

講師 東海大学建築都市学部 准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

③自立支援・介護予防普及アドバイザーフォローアップ研修

（地域包括ケア・地域ケア会議研修として、参加者をアドバイザーに固定せず実施）

第 1 回

専門職編「地域ケア会議で“本当に欲しい”アドバイスとは」オンライン

期 日 令和 8 年 3 月 4 日（水）

参加者 52 名

内 容 講義「地域ケア会議における専門職のアドバイスとは」

演習「簡易版ケース検討で、模擬地域ケア会議アドバイス実践！」

講師 東海大学建築都市学部 准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

第 2 回

事業所編「2035 年の秋田の地域包括ケアについて考える」オンライン

期 日 令和 8 年 3 月 5 日（木）

参加者 35 名

内 容 講義「これまで、秋田における地域包括ケアはどのように進んだのか」

演習「中山間地域・サービス不足地域の地域包括ケアを構想する」

講師 東海大学建築都市学部 准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

④自立支援・介護予防普及アドバイザーの派遣

派遣場所 三種町 令和 7 年 5 月 28 日（水）

令和 7 年 8 月 27 日（水）

令和 7 年 11 月 26 日（水）

令和8年2月25日(水)
 能代市 令和7年6月25日(水)
 東成瀬村 令和7年7月24日(木)
 八郎潟町 令和7年8月25日(月)
 令和7年10月23日(木)
 令和8年1月13日(火)

2 高齢者総合相談・生活支援センター運営事業の推進

(1) 一般相談及び専門相談

相談日 月曜日から金曜日

相談件数 (単位：件)

相談種別 \ 相談経路	一 般	専 門	合 計
家族・家庭関係	534	0	534
法律関係	79	43	122
経済・生活関係	26	0	26
福祉サービス関係	38	0	38
生きがいづくり関係	0	0	0
保健・医療関係	17	0	17
認知症	12	0	12
合 計	706	43	749

(2) 福祉用具に関する相談支援、福祉用具等の展示/通年

福祉用具及び住宅改修等の相談件数実績

令和7年4月1日～令和8年3月31日 祉機器、住宅改修に関する相談件数 23 件

(3) 自立支援・介護予防に関する講座(県民介護講座、福祉用具選択コース)の開催

①県民介護講座の開催(年6回)

ア 期 日 令和7年6月23日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 38 名

内 容 講義「いつまでも元気に過ごせる体づくり」

歯磨き・食べる機能の向上～口腔ケア～

講師 秋田県歯科衛生士会 川村孝子 氏

イ 期 日 令和7年7月28日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 36 名

内 容 講義「いつまでも元気に過ごせる体づくり」

頭とからだの運動～運動・脳トレ・eスポーツ～

講師 eSocial Cue 株式会社 若狭利伸 氏

- ウ 期 日 令和7年8月25日(月)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 29名
 内 容 講義「いつまでも元気に過ごせる体づくり」
 健康のお便り―排泄―の話～排泄のお悩み解決～
 講師 株式会社 IDO 横江美那子 氏
- エ 期 日 令和7年9月22日(月)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 31名
 内 容 講義「いつまでも元気に過ごせる体づくり」
 健康でより良い生活を送るために～薬の種類、副作用～
 講師 秋田県薬剤師会 石場加奈栄 氏
- オ 期 日 令和7年10月20日(月)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 30名
 内 容 講義「いつまでも元気に過ごせる体づくり」
 社会とのつながり～自治会、町内会、高齢者サロン～
 講師 秋田県南 NPO センター
 南部市民活動サポートセンター 八嶋英樹 氏
- カ 期 日 令和7年11月17日(月)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 23名
 内 容 講義「知って学んで備えよう」
 一人での判断が難しくなったら、老後を守る心託
 ～成年後見制度・身元保証～
 講師 秋田県社会福祉士会
 権利擁護センターばあとなあ秋田
 秋田県地域生活定着支援センター 豊澤公栄 氏

②福祉用具選択コース

- ア 期 日 令和7年9月19日(金) 令和7年9月26日(金)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 秋田大学 学生 計71名
 内 容 講義・実習「自立を支える福祉用具について」
 講師 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
- イ 期 日 令和7年6月24日(火)
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 県看護協会 13名
 内 容 講義・実習「在宅生活を支える福祉用具について」
 講師 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

(4) 介護保険に関する相談・苦情の状況調査

介護保険に関する相談・苦情の状況を調査、集計を行っている。

調査結果を秋田県国民健康保険団体連合会に情報提供することにより、対応の連携を図った（報告計 17 件）。

3 重層的支援体制整備事業後方支援事業

(1) 体制整備に向けた研修会（重層的支援体制整備促進セミナー）

期 日 令和 7 年 6 月 3 日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 79 名

内 容 講演「災害被災者支援ソーシャルワークの平準化、平時化と重層的支援体制整備事業」

講師 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋謙策 氏

(2) 体制整備に向けた情報交換会（包括的支援体制構築に向けた地域情報交換会）

地域、期日、会場、参加者

地域	期日、会場、参加者
横手湯沢地域	令和 7 年 10 月 22 日（水）
	ふれあいセンターかまくら館（横手市）
	13 名（行政 7 名、社協 6 名）
能代山本地域	令和 7 年 11 月 25 日（火）
	能代市文化会館（能代市）
	12 名（行政 5 名、社協 7 名）
大館鹿角地域	令和 7 年 11 月 25 日（火）
	大館市駅なか交流センター（大館市）
	14 名（行政 7 名、社協 7 名）
秋田由利・大曲仙北地域	令和 7 年 11 月 26 日（火）
	秋田県社会福祉会館
	18 名（行政 12 名、社協 6 名）
男鹿南秋地域	令和 7 年 11 月 26 日（火）
	トレイクかたがみ（潟上市）
	12 名（行政 5 名、社協 7 名）

内 容 事前アンケートに基づく意見交換、包括的支援体制の構築に向けた講師からの助言

講師 公益財団法人テクノエイド協会 顧問 大橋謙策 氏

推進項目3 行政と社協のパートナーシップの強化

<事業項目1 生活福祉課題に対する調査研究・提言機能の強化>

1 地域福祉推進委員会

(1) 地域福祉推進委員会

- | | | |
|-----|-----|--|
| 第1回 | 期 日 | 令和7年6月26日(木) |
| | 会 場 | 秋田県社会福祉会館(オンライン併用) |
| | 内 容 | 令和7年度福祉課題について
優良社会福祉協議会活動表彰の推薦について |
| 第2回 | 期 日 | 令和7年7月31日(木) |
| | 会 場 | 秋田県社会福祉会館(オンライン併用) |
| | 内 容 | 令和7年度における県との政策要望・政策協議について |
| 第3回 | 期 日 | 令和7年12月3日(水) |
| | 会 場 | 秋田県社会福祉会館(オンライン併用) |
| | 内 容 | 県との政策協議及び県・市町村への政策要望について
専門委員会の取組状況について
来年度の事業計画等に盛り込むべき取組について |
| 第4回 | 期 日 | 令和8年1月28日(水) |
| | 会 場 | 秋田県社会福祉会館(オンライン併用) |
| | 内 容 | 専門委員会の取組状況について
次年度の地域福祉推進委員会の取組について
福祉課題の調査について |

(2) 専門委員会

① 地域福祉活動計画検証委員会

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 期 日 | 令和8年1月9日(金) |
| 会 場 | 秋田県社会福祉会館 |
| 内 容 | 第6期活動計画の進捗状況について
次年度の進め方について |

② 地域福祉トータルケア推進事業検証委員会(令和6年度から継続)

- | | | |
|-----|-----|----------------------------|
| 第4回 | 期 日 | 令和7年7月29日(火) |
| | 会 場 | 秋田県社会福祉会館 |
| | 内 容 | 地域福祉トータルケア推進事業の要綱改正(案)について |
| 第5回 | 期 日 | 令和7年11月20日(木) |
| | 会 場 | 秋田県社会福祉会館 |
| | 内 容 | 地域福祉トータルケア推進事業の要綱改正(案)について |

※第1回～第3回は令和6年度に開催

③ 外国人等介護人材確保検討委員会

- | | | |
|-----|-----|--------------|
| 第1回 | 期 日 | 令和8年2月20日(金) |
| | 会 場 | アキタパークホテル |

参加者 13 名

内 容 外国人介護人材の受入れ実態調査について

④社会福祉協議会広域連携勉強会

＜現地視察＞

「令和 7 年度大仙市社会福祉法人等連携協議会研修会」 並びに

「大仙市・仙北市・美郷町社会福祉協議会事業運営に関する情報交換会」

期 日 令和 7 年 8 月 1 日（金）

会 場 大仙市健康福祉会館（大仙市）

＜シンポジウム参加＞

「社会福祉連携シンポジウム 2026」

期 日 令和 8 年 1 月 23 日（金）

会 場 オンライン

⑤社会福祉施設災害ネットワーク会議

期 日 令和 8 年 3 月 27 日（金）

会 場 オンライン

参加者 4 名

内 容 これまでの取組み状況について

災害時に中核的な役割を担う社会福祉施設等の整備モデル事業について

災害福祉支援ネットワーク中央センターの活動状況について

2 調査研究・政策提言活動の強化

地域福祉推進委員会で検討した政策要望書を県に提出するとともに、県健康福祉部及び教育庁幼保推進課と政策協議を行ったほか、県内各市町村長に対し、書面による要望を行った。

＜秋田県地域福祉行政懇談会＞

期 日 令和 7 年 8 月 22 日（金）

会 場 アキタパークホテル（秋田市）

内 容 要望 1 民生委員・児童委員活動への協力促進と定数基準等の整理について
（秋田県民生児童委員協議会）

要望 2 災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定の締結等について
（市町村社会福祉協議会連絡協議会）

要望 3 全ての子どもが平等に保育を受けるための市町村格差の是正と保育
提供体制の維持について（秋田県保育協議会）

協議 1 地域活動活性化に向けた施策展開と活動者への支援について（秋田県
民生児童委員協議会・市町村社会福祉協議会連絡協議会）

協議 2 地域における社会資源としての社会福祉施設・事業所等の維持について
（秋田県社会福祉法人経営者協議会）

協議 3 生活支援コーディネーターと連携した取組支援について(秋田県社会福祉協議会)

推進項目 4 県民啓発と情報発信

＜事業項目 1 課題解決に向けた県民啓発の強化＞

1 秋田県社会福祉大会

期 日 令和 7 年 10 月 29 日 (水)

会 場 あきた芸術劇場「ミルハス」(秋田市)

参加者 535 名

内 容 秋田県知事表彰 182 名 3 団体

秋田県社会福祉協議会会長表彰 128 名 6 団体

実践発表 「住民に身近な総合相談支援体制づくり」

能代市社会福祉協議会 生活支援課 課長 斉藤洋子 氏

記念講演 「災害に強い地域福祉のあり方」

講師 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋一 氏

2 情報提供機能の充実

(1) 「社会福祉あきた」の発行

発行回数 5 回

発行部数 各 4,950 部 (382 号は 6,100 部)

(2) ホームページ、フェイスブックの更新

ニュース&トピックス 150 件、バナー広告 4 社

Facebook への記事掲載 68 件

(3) メールマガジンの配信

月 2 回配信 (対象 685 カ所)

《基本方針 2 住民参加による地域づくり》

推進項目 1 福祉教育による地域活動の育成支援

<事業項目 1 福祉教育の推進>

1 福祉教育推進事業の実施

(1) 福祉教育推進セミナー【共同募金助成事業】

期 日 令和 8 年 2 月 27 日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 27 名

内 容 講義 「地域や学校とつながる福祉教育～共に生きる力を育むために～」

講師 東北福祉大学 総合福祉学部 准教授 大石剛史 氏

実践発表 「矢吹町における福祉教育～福祉科高校生による中学生への
出前講座を通して～」

福島県矢吹町社会福祉協議会 事務局長 五十嵐栄一 氏

ボランティアコーディネーター 鈴木沙耶香 氏

「色を手がかりにして地域を知る“地域愛”の育成と実践」

北海道名寄市社会福祉協議会 地域支援係長 小笠原志朗 氏

「生きる力を育て合う『福祉共育』」

宮城県南三陸町社会福祉協議会 事務局長 高橋吏佳 氏

(2) 市町村における福祉教育事業への支援

全国福祉教育推進員研修への参加と参加費助成

期 日 令和 7 年 8 月 6 日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館(全国：オンライン、県内：参集)

参加者 7 名(5 市町)

内 容 「福祉教育推進員の養成」

2 介護等体験調整事業

介護等体験参加者 170 名

申込学校数 9 校(県内 4 校、県外 5 校)

体験受入協力施設 52 施設

<事業項目 2 地域におけるボランティア・市民活動の育成支援>

1 地域福祉の推進に向けたボランティア活動や市民活動への支援

(1) あきた車いすリサイクル事業

修理活動の参加高校(6 校)

能代科学技術高等学校、男鹿工業高等学校、秋田工業高等学校、大曲工業高等学校

横手清陵学院高等学校、湯沢翔北高等学校

車いす贈呈先

タイ、スリランカ

参 加 校	修理台数 (修理中含む)
能代科学技術高等学校	2 台
男鹿工業高等学校	1 台
秋田工業高等学校	1 台
大曲工業高等学校	1 台
横手清陵学院高等学校	3 台
湯沢翔北高等学校	1 台
計	9 台

(2) あきた車いすリサイクリング出張講習会

期 日 令和7年7月23日(木)

会 場 男鹿工業高等学校(男鹿市)

参加者 6名

期 日 令和7年9月4日(木)

会 場 大曲工業高等学校(大仙市)

参加者 6名

期 日 令和7年10月28日(火)

会 場 秋田工業高等学校(秋田市)

参加者 4名

期 日 令和7年12月6日(土)

会 場 横手清陵学院高等学校(横手市)

参加者 10名

内 容 演習「車いす修理のポイントについての講習」

講師 みらい工房 管理者 早瀬尚文氏

(3) 地域貢献活動助成

①助成校(7校)

秋田県立能代松陽高等学校

活動名「令和7年度能代松陽高校情報ビジネス科『オリジナル商品の開発と販売実践』(企業と連携したオリジナル商品の企画・販売)」

秋田県立大館桂桜高等学校

活動名「つなぐ つながる 桂桜オレンジプロジェクト！」
(オレンジカフェの運営、運営に活動のための研修受講)

秋田市立岩見三内中学校

活動名「岩見中生の力でふるさと岩見三内を盛り上げる！～誇りの共有
価値の創造 魅力の発信～」(地元PRリーフレット作成、オリジナル弁当開発 等)

秋田大学教育文化学部附属特別支援学校

活動名「みんなのために、誰かのために～地域の清掃やイベントの参加を通して～」(商店街の清掃、コーヒーショップの出店)

秋田県立新屋高等学校

活動名「新屋高校 SDGs プロジェクト」
(文化部体験教室、海岸清掃ボランティア)

秋田修英高等学校

活動名「ステップ UP コース(学びの多様化学校)『地域協働』(農業体験)」
(農業体験を通して地域交流)

秋田県立六郷高等学校

活動名「ふくし de しらべよう～六郷高校で夏の自由研究をしませんか」
(小学生とラベンダーについて研究、福祉科生徒との交流)

②実践発表会

期 日 令和8年1月29日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 34名

内 容 実践発表(助成校7校、車いすリサイクリング事業実施代表校1校)

<推進項目2 誰一人取り残さない地域社会づくり>

1 子どもの居場所づくりへの支援

1 あきた子ども応援ネットワーク事業の実施【共同募金助成事業】

(1) 支援団体連絡会議

第1回 期 日 令和7年5月22日(木)

会 場 オンライン

参加者 36団体(50名)、市町村社協9名、県・市町村行政14名

内 容 令和6年度の実績とネットワークの効果、令和7年度の実績案、セブンイレブンのフードドライブについて

第2回 期 日 令和7年12月17日(水)

会 場 オンライン

参加者 34団体(43名)、市町村社協2名、県・市町村行政9名

内 容 ガイドブック(案)の内容、情報交換会の実施、訪問後の連絡調整状況、寄付型自販機、備蓄米の無償交付について

第3回 期 日 令和8年3月18日(水)

会 場 オンライン

参加者 31団体(43名)、市町村社協4名、県・市町村行政7名

内 容 「あきた子ども応援ネットワーク」webサイト改修、ガイドブック(案)内容、令和7年度の実績状況、令和8年度の実績案、寄附の分配、情報提供について

(2) 支援者情報交換会

各団体が抱える課題等を事前アンケートで整理し、課題の解決に向けて団体・市町村行政・社協による情報交換を行った。

①大館市会場

期 日 令和7年9月18日（木）

参 加 者 大 館 市 大館市行政、支援団体4団体
北 秋 田 市 北秋田市社協、支援団体2団体
鹿 角 市 鹿角市行政、鹿角市社協、支援団体3団体
小 坂 町 小坂町行政、支援団体1団体
上小阿仁村 上小阿仁村行政

②秋田市会場

期 日 令和7年9月25日（木）

参 加 者 秋 田 市 秋田市行政、支援団体9団体

③大仙市会場

期 日 令和7年9月26日（金）

参 加 者 大 仙 市 支援団体2団体
仙 北 市 仙北市行政、支援団体1団体
美 郷 町 美郷町行政、支援団体2団体

④横手市会場

期 日 令和7年10月2日（木）

参 加 者 横 手 市 支援団体3団体
湯 沢 市 湯沢市行政、支援団体3団体
羽 後 町 羽後町行政、羽後町社協、
支援団体1（活動範囲が羽後町にある団体）
東 成 瀬 村 東成瀬村行政

⑤潟上市会場

期 日 令和7年10月6日（月）

参 加 者 男 鹿 市 男鹿市行政、支援団体1団体
潟 上 市 潟上市行政、潟上市社協、支援団体2団体
五 城 目 町 五城目町行政、五城目町社協
八 郎 潟 町 八郎潟町行政、八郎潟町社協
井 川 町 井川町行政
大 潟 村 大潟村社協

⑥由利本荘市会場

期 日 令和7年10月15日（水）

参 加 者 由利本荘市 由利本荘市行政、支援団体3団体
に か ほ 市 にかほ市行政、支援団体1団体

⑦能代市会場

期 日 令和7年10月16日（木）能代市会場

参 加 者 能 代 市 能代市行政、支援団体5団体

三 種 町 支援団体2団体

藤 里 町 藤里町行政、支援団体1団体

八 峰 町 八峰町行政、支援団体1団体

内 容 団体等の取組状況と課題の共有（地域の行政、社協と共有）、課題解決に向けた取組及び、地域ごとの連携に向けた各地区の情報交換に向けた話し合いについて

(3)勉強会（子どもの居場所づくりに向けた人材養成講座）の開催

・期 日 令和7年6月20日（金）

会 場 仁井田コミュニティセンター（秋田市）

参加者 25名

内 容 実践紹介「子ども食堂立ち上げの経緯、取組状況等について」

じょうみょうじ子ども食堂 代表 藤井真貴子 氏

特定非営利活動法人あきた子どもネット 代表 後藤節子 氏

・期 日 令和7年7月11日（金）

会 場 社会福祉法人 八峰町社会福祉協議会（八峰町）

参加者 31名

内 容 実践紹介「子ども食堂立ち上げの経緯、取組状況等について」

じょうみょうじ子ども食堂 代表 藤井真貴子 氏

子ども親支援スマイル・ミント 代表 袴田清枝 氏

・期 日 令和8年1月15日（木）

会 場 秋田市老人福祉センター（秋田市）

参加者 52名

内 容 講演「全国の子ども食堂の取組状況、エピソード等について」

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

ディレクター（地域ネットワーク支援、組織開発）渋谷雅人 氏

・期 日 令和8年1月22日（木）

会 場 三種町地域福祉センター（三種町）

参加者 16名

内 容 実践紹介「子ども食堂立ち上げの経緯、取組状況等について」

そらまめ食堂 代表 小山田公代 氏

・期 日 令和8年2月3日（火）

会 場 社会福祉法人 湯沢市社会福祉協議会（湯沢市）

参加者 18名

内 容 実践紹介「子ども食堂、制服等リユースの立ち上げの経緯、取組状況等について」

株式会社たなか 高橋美佳子 氏
NPO法人地域共生事業企画ねこの手もかりたい
理事長 高井俊博 氏

(4) 助言者の派遣

- ・期 日 令和7年5月16日（金）
依頼者 鹿角市（特定非営利活動法人子どもコンシェルジュ）（オンライン）
内 容 子ども支援にかかわる運営方法について
（事業内容の組み立て、事業費の確保・方法、学校や行政との連携方法、ニーズ調査の方法運営のための財源、運営方法、規約等）
助言者 特定非営利活動法人 秋田たすけあいネットあゆむ
理事長 保坂ひろみ 氏
- ・期 日 令和7年6月17日（火）
依頼者 由利本荘市内での活動希望者
内 容 子ども食堂を始めるために必要なこと、失敗例や注意した方がいいこと等について
助言者 食彩 舞桜 代表 林崎栄美 氏
- ・期 日 令和7年6月24日（火）
依頼者 井川町内での活動希望者
内 容 子ども食堂の資金面、子ども食堂を始めるために必要なこと、失敗例や注意した方がいいこと等について
助言者 そらまめ食堂 代表 小山田公代 氏

2 子どもの居場所づくり等支援事業の実施

コーディネーター1名を配置し、子どもの居場所づくり等に取り組む団体等への支援及びあきた子ども応援ネットワークの充実・強化を図った。

(1) 支援団体への訪問・ヒアリング

取組の現状と課題を把握するため新規掲載団体を訪問してヒアリングを行った。

訪問数 9団体

(2) 企業等への訪問

① 訪問活動

JA 秋田なまはげ農協、秋田地区農業士会総会、秋田信用金庫等に訪問し、子ども食堂等支援団体への寄附提供に繋がるよう企業訪問を行った。

② 連絡調整

- ・複数のスーパーに対し、アルミ缶等リサイクル収益の寄附や、フードドライ BOX の設置について調整した。
- ・JA11カ所に対し、各地域の子ども食堂の情報発信と食材提供の協力について調整した。
- ・秋田ライオンズクラブと調整し、フードドライブの実施及び食料品の提供につながった。

(3)あきた子ども応援ネットワークの充実・強化

WEB サイトの充実及び県民・企業等からの寄附等に対する調整等を行った。

① Web サイト掲載の促進 新規掲載 12 団体（計 68 団体）

② 寄附等の調整 59 件

(株)セブン-イレブン・ジャパンによるフードドライブ活動に対し、7 市町で活動する支援団体とのマッチングを行った。なお、店舗の改装や移転等に伴い発生する在庫商品の一部を寄贈する取組については、大仙市で 9 団体、秋田市で 6 団体、秋田市で 4 団体、由利本荘市で 3 団体及び秋田県立大学本荘キャンパスへ寄贈した。

③ ボランティアの調整 53 件

④ 問い合わせ等対応 196 件

(4)県補助金の申請に伴う相談支援

子ども食堂等を立ち上げようとする個人・団体に対して県補助金の活用に向けて支援した。（申請団体 8 件）

(5)居場所づくりガイドブックの作成

子ども食堂、食料支援、制服等リユース、学習支援などの活動の立ち上げに参考となる基礎的な情報を記載したガイドブックを作成した。

2 孤独・孤立支援

1 地域の福祉力向上事業の実施（再掲）【共同募金助成事業】

<事業項目 3 ひとり親家庭や児童養護施設退所者の自立支援の促進>

1 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施

(1)入学準備金

新規貸付決定件数 2 件

令和 7 年度貸付額 1,000,000 円

(2)就職準備金

新規貸付決定件数 2 件

令和 7 年度貸付額 400,000 円

2 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の実施

(1)生活支援費

①過年度決定件数（継続） 4 件

令和 7 年度貸付額 2,400,000 円

②新規貸付決定件数 1 件

令和 7 年度貸付額 600,000 円

(2)家賃支援費

①過年度決定件数（継続） 4 件

令和 7 年度貸付額 2,261,160 円

②新規貸付決定件数	1 件
令和 7 年度貸付額	444,000 円
(3)資格取得支援費	
新規貸付決定件数	1 件
令和 7 年度貸付額	250,000 円

<事業項目 4 災害遺児愛護基金による児童の健やかな成長の支援>

1 災害遺児愛護基金事業への寄附金の充実

(1)金銭寄附状況

件数 24 件 金額 1,262,754 円

(2)災害遺児の状況

令和 8 年 3 月 31 日現在災害遺児数 25 名(保護者数 15 名)

令和 7 年度に新たに対象となった災害遺児数 4 名(保護者数 2 名)

(3)給付金支給状況

見舞金 5 名 500,000 円

激励金 25 名 750,000 円

卒業祝金 支給対象者なし

入学祝金 3 名 150,000 円

(4)災害遺児愛護基金事業運営委員会

期 日 令和 7 年 6 月 16 日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 令和 6 年度事業報告

寄附金・給付金等の状況について

事業の PR 活動の取組について

令和 6 年度決算及び令和 7 年度予算について

(5)チャリティゴルフ大会

期 日 令和 7 年 9 月 12 日(金)

会 場 秋田太平山カントリークラブ

参加者 38 名

<事業項目 5 高齢者の生きがい・健康づくりの推進>

1 高齢者の健康づくり及び創作活動の支援

(1)第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会への選手派遣

期 日 令和 7 年 10 月 18 日(土)～21 日(火)

会 場 岐阜県内

参加者 104 名

種 目 スポーツ関連イベント：スポーツ交流大会 5 種目、ふれあいスポーツ交流大会 7 種目

文化交流大会：4 種目

美術展 6 部門 12 作品出品

(2) いきいき長寿あきた 2025 ねんりんピック スポーツ親睦大会

期 日 令和 7 年 8 月 2 日（土）～令和 8 年 2 月 15 日（日）

会 場 ニプロハチ公ドーム（大館市）、秋田県立武道館、秋田県立中央公園テニスコート、秋田県社会福祉会館、秋田県立中央公園スカイドーム、CNA アリーナ
★あきた、秋田テルサ体育館（秋田市） 等

参加者 1,614 名 （17 種目：19 大会開催）

種 目	期 日
弓道	令和 7 年 8 月 2 日（土）
グラウンドゴルフ（県北）	令和 7 年 9 月 4 日（木）
ソフトテニス	令和 7 年 9 月 7 日（日）
テニス	令和 7 年 9 月 11 日（木）
剣道	令和 7 年 9 月 13 日（土）
囲碁	令和 7 年 9 月 20 日（土）
将棋	令和 7 年 9 月 20 日（土）
太極拳	令和 7 年 9 月 23 日（火）
ペタンク	令和 7 年 9 月 24 日（水）
ゲートボール	令和 7 年 9 月 26 日（金）
健康マージャン	令和 7 年 9 月 28 日（日）
ソフトボール	令和 7 年 9 月 28 日（日）
グラウンドゴルフ（県南）	令和 7 年 10 月 7 日（火）
パークゴルフ	令和 7 年 10 月 13 日（月）
ミニテニス	令和 7 年 11 月 3 日（月）
グラウンドゴルフ（中央）	令和 7 年 11 月 4 日（火）
卓球	令和 7 年 12 月 6 日（土）
ソフトバレーボール	令和 8 年 2 月 8 日（日）
ダンススポーツ	令和 8 年 2 月 15 日（日）

(3) いきいき長寿あきた 2025 ねんりんピック ねんりん美術展

期 日 令和 7 年 11 月 10 日（月）～13 日（木）

会 場 秋田拠点センターアルヴェ（秋田市）

内 容 ねんりん美術展

出品者 81 名、観覧者 591 名

(4) いきいき長寿あきた 2025 ねんりんピック 福祉・文化のつどい

期 日 令和 7 年 11 月 12 日（火）

会 場 秋田拠点センターアルヴェ（秋田市）

内 容 いきいき講演会

演題「フレイル予防の栄養と食事～簡単にできる食事のコツ！～」

株式会社タクト 管理栄養士 宇佐美佳奈子 氏

演題「楽しくはじめる e スポーツ ～心と体は脳の元気から～」

eSocialCue 株式会社 代表取締役 若狭利伸 氏

演題「ニュースポーツ：モルック～あなたもやってみませんか～」

ニュースポーツインストラクター 菊地義寿 氏、高橋幸雄 氏

2 高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報収集・提供

(1) いきいきシニア生活誌「ロングライフ」の発行

発行回数 2 回 (No.149、No.150)

発行部数 各 3,000 部

3 高齢者が活躍する場づくり支援事業【高齢者未来づくり支援基金事業】

(1) 高齢者が活躍する場づくり助成事業

①人材発掘・養成に係る活動 (1 件)

上杉げんき応援隊(北秋田市)

『健康カラオケ』を目指す

②地域の課題解決や地域の活性化に資する活動 (8 件)

芦崎地区 ひまわりサロン (三種町)

「芦崎地区 介護予防サロン」

ケイロウくらぶ (大館市)

「介護予防のための『心身フレイル予防』講座」

豊岡介護予防サロン (三種町)

「豊岡介護予防サロン」

東日本大震災による避難者を支援する秋田県南連絡協議会 (横手市)

「地域サロン等による『いきいき生活』支援事業」

館村サロン (三種町)

「高齢者向けサロン活動の内容の充実をめざして」

槻田・和み会 (三種町)

「介護予防、孤立化予防のための地域サロン事業」

合川樺細工の会 (北秋田市)

「樺細工による高齢者のアクティビティ向上化事業」

安戸六サロン (三種町)

「安戸六らしさ満開 みんなが集まれる居場所づくり」

③フレイル予防のための活動 (8 件)

雄勝地域老人クラブ連合会 (湯沢市)

「湯沢市内老人クラブ地域間交流会～フレイル予防と健康づくり～」

平和新町サロン (秋田市)

「高齢者が活躍する場づくり助成金」

由利本荘市東由利連合婦人会 (由利本荘市)

「地域とともに げんき応援隊」

旭町シニア e スポーツの会 (秋田市)

「旭町シニア e スポーツの会」
 鹿角モルック協会（鹿角市）
 「スポーツ（モルック）の習慣による健康寿命につながる事業」
 上小阿仁村グランドゴルフ同好会（上小阿仁村）
 「グラウンドゴルフでみんなの元気創造事業」
 南平沢町内会（男鹿市）
 「健康体操教室」
 茨島コミセン e スポーツの会（秋田市）
 「フレイル予防のための活動」

(2) ニュースポーツ振興事業

① ニュースポーツ用具の貸出 52

スカットボール、ボッチャ、シャフルボード、ニチレクボール、スマイルボウリング、室内用ペタンクボール、カラーリング、ユニカール

② ニュースポーツインストラクターの派遣 11 件

(3) ロングライフ講座

会場・参加者

会 場	前期	後期	合計
大館会場（大館市北地区コミュニティーセンター）	11 名	—	11 名
潟上会場（かたりあん）	22 名	9 名	31 名
秋田会場（秋田県社会福祉会館）	13 名	13 名	26 名
能代会場（能代市中央公民館）	11 名	5 名	16 名
北秋田会場（北秋田市交流センター）	19 名	8 名	27 名
横手会場（サンサン横手）	5 名	—	5 名
湯沢会場（湯沢文化会館）	—	4 名	4 名
合 計	81 名	39 名	120 名

内 容

「音楽でリフレッシュ！」
 音楽療法教室リヴァー 平川真実 氏
 「笑顔で長生き とっておきの健康法」
 フリーアナウンサー 原田真裕美 氏
 「ニュースポーツ体験（モルック）」
 秋田県レクリエーション協会副理事長 菊地義寿 氏
 「e スポーツで生きている実感を支えたい・e スポーツ体験」
 eSocial Cue 株式会社 若狭利伸 氏
 「笑顔で元気 健康寿命を延ばすためには」
 介護予防健康アドバイザー 小山田聖子 氏

<事業項目6 認知症高齢者への支援>

1 フレイル予防推進事業の実施

(1) 検討委員会の実施

- 第1回 期 日 令和7年10月30日(木)
 会 場 秋田キャッスルホテル (秋田市)
 内 容 令和7年度事業の進捗状況について
 今後の展開について
- 第2回 期 日 令和8年3月11日(水)
 会 場 秋田キャッスルホテル (秋田市)
 内 容 令和7年度事業報告について
 令和8年度事業計画について

(2) eスポーツ検証

①検証参加者への説明会 5カ所

期 日	会 場
令和7年6月11日(水)	福祉複合施設ウエルビューいずみ (秋田市)
令和7年6月12日(木)	川元地域包括支援センター (秋田市)
令和7年7月10日(木)	ウエルハウス御所野 (秋田市)
令和7年8月5日(火)	岩城勝栄会館 (由利本荘市)
令和7年9月17日(水)	あさひ町内会館 (秋田市)

②検証前の測定 4カ所

- ・期 日 令和7年6月19日(木)
 会 場 茨島コミュニティセンター (秋田市)
 参加者 14名
 内 容 フレイル予防の講話 秋田大学 小玉鮎人 氏
 認知機能の測定・身体測定・eスポーツについて説明
- ・期 日 令和7年8月5日(火)
 会 場 秋田市御所野交流センター (秋田市)
 参加者 24名
 内 容 フレイル予防の講話 秋田大学 小玉鮎人 氏
 認知機能の測定・身体測定・eスポーツについて説明
- ・期 日 令和7年9月2日(火)
 会 場 勝栄会館 (由利本荘市)
 参加者 16名
 内 容 フレイル予防の講話 秋田大学 小玉鮎人 氏
 認知機能の測定・身体測定・eスポーツについて説明
- ・期 日 令和7年10月31日(金)
 会 場 あさひ町内会館 (秋田市)
 参加者 14名

内 容 認知機能の測定・身体測定・eスポーツについて説明

③検証の実施 令和7年6月～令和8年2月 各箇所 週1回／3カ月

茨島コミュニティセンター（秋田市） 5名 毎週木曜日

（6/26, 7/3・10・17・24・31, 8/7・21・28, 9/4・11・18）計12回

秋田市御所野交流センター（秋田市） 16名 毎週火曜日

（8/12・19・26, 9/2・9・16・30, 10/7・14・21・28, 11/4）計12回

勝栄会館（由利本荘市） 15名 毎週火曜日

（9/9・16・30, 10/7・14・21・28, 11/4・11・18・25, 12/2）計12回

あさひ町内会館（秋田市） 13名 毎週金曜日

（11/7・14・21・28, 12/5・12・19・26, 1/9・16・23・30）計12回

④検証終了後の測定 4カ所

・期 日 令和7年9月25日(木)

会 場 茨島コミュニティセンター（秋田市）

参加者 7名

内 容 認知機能の測定・身体測定

・期 日 令和7年11月11日(火)

会 場 秋田市御所野交流センター（秋田市）

参加者 16名

内 容 認知機能の測定・身体測定

・期 日 令和7年12月9日(火)

会 場 勝栄会館（由利本荘市）

参加者 15名

内 容 認知機能の測定・身体測定

・期 日 令和8年2月6日(金)

会 場 あさひ町内会館（秋田市）

参加者 11名

内 容 認知機能の測定・身体測定

(3) フレイル予防出前講座

・内 容 講義 eスポーツ体験（eスポーツってなんだろう？）

—趣味活動～認知症・フレイル予防まで—

講師 eSocial Cue 若狭利伸 氏

期 日	会 場	参加者
令和7年5月23日(金)	土崎 あさひ町 休養寺(秋田市)	17名
令和7年6月18日(水)	前野会館(北秋田市)	15名
令和7年6月21日(土)	八峰町社会福祉協議会	13名
令和7年7月10日(木)	八橋イサノ町内会館(秋田市)	16名
令和7年7月25日(金)	ふるさとふれあいセンターかしま館(湯沢市)	17名
令和7年7月29日(火)	岩城勝栄会館(由利本荘市)	17名
令和7年7月31日(木)	下新城西町会館(秋田市)	10名
令和7年8月6日(水)	地域交流センターゆるるん(東成瀬村)	17名
令和7年8月20日(水)	リンデンバウム(泉包括協議会)(秋田市)	9名
令和7年8月22日(金)	能代ふれあいプラザ(能代市)	7名
令和7年8月29日(金)	(特養)大館南ガーデン(大館市)	19名
令和7年9月5日(金)	八峰町峰浜畑谷改善センター	16名
令和7年9月6日(土)	仙北ふれあい文化センター(大仙市) 秋田元気ムラ大交流会 2025 in だいせん	24名
令和7年9月8日(月)	上新城コミュニティセンター(秋田市)	15名
令和7年9月11日(木)	美郷町社会福祉協議会	9名
令和7年9月12日(金)	美郷町社会福祉協議会	5名
令和7年9月16日(火)	大住地区コミュニティセンター(秋田市)	10名
令和7年10月3日(金)	飯島南地区コミュニティセンター(秋田市)	14名
令和7年10月11日(土)	藤里町社会福祉協議会・福祉の拠点こみっと	20名
令和7年10月16日(木)	グランマート泉店(秋田市)	5名
令和7年10月26日(日)	能代ふれあいプラザ(能代市)	20名
令和7年11月20日(木)	前野会館(北秋田市)	12名
令和7年11月26日(水)	大曲交流センター(大仙市)	48名
令和7年12月18日(木)	金足地区コミュニティセンター(秋田市)	9名
令和8年2月26日(木)	藤里町社会福祉協議会	14名

・出前講座継続支援 勝栄会館(由利本荘市) 15名 毎週火曜日
(12/16・12/23・1/13・1/20・1/27・2/3・2/10・2/17・2/24・3/3・3/10・3/24)
計12回

(4) フレイル予防サポーター養成研修

期 日 令和7年6月6日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

修了者 19名

内 容 講義 I 地域活動におけるeスポーツを用いたフレイル予防とは
・フレイル予防とは
・フレイル予防サポーターの役割
II eスポーツの基礎知識と事例紹介
III 県内の検証について

IV eスポーツ導入前の準備・サポート

- ・ eスポーツ導入後のサポート
- ・ eスポーツを活用した自立支援とは

実技 eスポーツ体験（機材の設置からゲームの設定まで）

講師 eSocial Cue 若狭利伸 氏

(5) フレイル予防交流会

期 日 令和7年11月4日(火)

会 場 秋田市御所野交流センター（秋田市）

参加者 12名

内 容 太鼓の達人・バトミントン

期 日 令和7年12月9日(火)

会 場 勝栄会館（由利本荘市）

参加者 15名

内 容 太鼓の達人・バトミントン・グランツーリスモ

期 日 令和8年1月30日(金)

会 場 あさひ町内会館（秋田市）

参加者 14名

内 容 太鼓の達人・バトミントン・グランツーリスモ

推進項目3 多様な主体によるネットワークづくりの推進

<事業項目1 コミュニティソーシャルワーク実践者の育成>

1 コミュニティソーシャルワーク実践者の育成に向けた研修【共同募金助成事業】

(1) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（前期課程）

期 日 令和7年6月4日（水）～5日（木）

会 場 秋田県総合生活文化会館（秋田市）

参加者 17名

内 容 講義1「地域共生社会政策時代における地域包括ケアとコミュニティ
ソーシャルワーク」

演習1「事例報告」

演習2-1「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」

演習2-2「コミュニティソーシャルワークの視点による問題解決方針の立案
と援助システムづくり」

演習3「ヴァルネラビリティのある人の相談支援」

講義2「ヴァルネラビリティのある人の特性とアウトリーチの必要性」

演習4「コミュニティソーシャルワークの展開と問題解決プログラム開発」

講 師 公益財団法人テクノエイド協会理事長／日本社会事業大学名誉教授

大橋謙策 氏

(2) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（後期課程）

期 日 令和7年9月9日（火）～10日（水）、10月23日（木）

会 場 秋田市民交流プラザ、秋田市にぎわい交流館 AU（秋田市）

参加者 14名

内 容 演習3「ヴァルネラビリティのある人の相談支援」

演習4「コミュニティソーシャルワークの展開と問題解決プログラム開発」

演習5「日常生活圏域における支援システムの構築とソーシャルサポート
ネットワークの形成」

講 師 公益財団法人テクノエイド協会理事長／日本社会事業大学名誉教授

大橋謙策 氏

2 コミュニティソーシャルワーク実践者の交流促進

(1) 「コミュニティソーシャルワークパワーアップセミナー2025」への参加

期 日 令和7年9月5日（金）～6日（土）

会 場 大正大学巣鴨キャンパス（東京都）

参加者 2名（地域福祉担当）

(2) 「第7回地域共生社会推進全国サミットinかが」への参加

期 日 令和7年11月20日（木）～21日（金）

会 場 加賀市文化会館（石川県）

参加者 1名（生活相談支援担当）

3 コミュニティソーシャルワーク実践研究会への支援

(1) 総会の開催

期 日 令和7年10月3日（金）

会 場 秋田市民交流プラザ（秋田市）

参加者 17名（委任状18名）

(2) 監事会の開催

期 日 令和7年7月22日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

(3) 正副幹事長会議の開催

第1回 期 日 令和7年6月10日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

第2回 期 日 令和7年12月19日（金）

会 場 オンライン

(4) 運営幹事会の開催

第1回 期 日 令和7年7月17日（木）

会 場 秋田県社会福祉会館

第2回 期 日 令和7年10月1日（水）

会 場 オンライン
第3回 期 日 令和7年12月17日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
第4回 期 日 令和8年1月19日(月)
会 場 オンライン
第5回 期 日 令和8年2月18日(水)
会 場 オンライン

(5) 全体研修の開催

① 第1回

期 日 令和7年10月3日(金)
会 場 秋田市民交流プラザ(秋田市)
参加者 22名
内 容 ワークショップ
「コミュニティソーシャルワークって何?を考えよう」
講師 三種町社会福祉協議会 事務局長 安達隆 氏
事例発表① 能代市社会福祉協議会 主任 柴田明子 氏
事例発表② 横手市基幹相談支援センター 松井淳子 氏

② 第2回

期 日 令和8年2月20日(金)
会 場 秋田県生涯学習センター(秋田市)
参加者 28名
内 容 講義
「制度を動かす 地域で動かす CSWに求められる『つなぐ力』『つくる力』」
講師 大阪府豊中市社会福祉協議会 事務局長 勝部麗子 氏
パネルディスカッション 「断らない支援を地域でつなぐには」
パネリスト 由利本荘市行政改革推進課 課長 佐藤夏樹 氏
大館市社会福祉事業団 事務局長 伊藤政利 氏
湯沢市社会福祉協議会 事務局長 赤平一夫 氏
コーディネーター
大阪府豊中市社会福祉協議会 事務局長 勝部麗子 氏

<事業項目2 ネットワーク支援体制づくり>

- 1 ネットワーク活動の連携推進モデル事業の実施(再掲)【共同募金助成事業】
- 2 コミュニティソーシャルワーク実践者の育成に向けた研修(再掲)【共同募金助成事業】

推進項目4 地域における公益活動の推進

- 1 地域と社会福祉法人・施設との協働事業の推進

1 地域と社会福祉法人・施設との協働事業の推進

市町村社協地域福祉担当情報交換会等の機会を通して、地域の社会福祉法人・施設との連携・協働による地域の公益的な取組について情報を共有した。

推進項目5 危機管理体制づくりの推進

<事業項目1 災害福祉支援機能の構築>

1 災害福祉支援センターの開設

(1) 秋田県災害福祉支援センター 開所式

平時から災害ボランティアに係る関係づくりや人材育成を行うほか、災害派遣福祉チーム（DWAT）の組成・体制を強化するため、災害福祉支援センターを開設し、以下のとおり開所式を行った。

期 日 令和7年5月22日（木）

会 場 秋田県庁本庁舎（秋田市）

内 容 事業概要説明、覚書締結、記念撮影、秋田県知事挨拶、秋田県社協挨拶、質疑応答

(2) 市町村社協等への講師等派遣

市町村社協等における研修等を通じ、本県の災害福祉支援機能向上につなげるため、職員を派遣した。

期日	研修会等名	会場	備考
7月27日（日）	災害福祉研究大会	秋田県社会福祉会館	共催 基調講演
9月8日（月）	美郷町社会福祉協議会研修会	美郷町社協（美郷町）	講話
9月26日（金）	横手・湯沢・雄勝郡社会福祉協議会職員研修会	横手市社協集会施設ふれあい館（横手市）	講義
10月18日（土）	由利本荘市社協防災から考える地域づくり研修会	由利本荘市社協本所（由利本荘市）	パネリスト
10月28日（火）	災害ボランティア実地訓練	湯沢市高松地区センター（湯沢市）	講話
11月21日（金）	大仙市社会福祉協議会職員交流研修	大曲プラザたつみ（大仙市）	講義
11月22日（土）	あきた防災フェスタ	秋田拠点センターALVE（秋田市）	ブース 出展
2月19日（木）	男鹿市福祉・介護事業所等連絡協議会	男鹿市役所（男鹿市）	講話
3月13日（金）	五城目町社会福祉協議会役員研修	五城目町社協（五城目町）	講話
3月25日（水）	能代市社会福祉法人連絡会研修会	能代ふれあいプラザサンピノ（能代市）	講義

<事業項目2 災害ボランティアの支援>

1 市町村社協における災害支援体制の構築

(1) 災害ボランティアセンター設置運営マニュアル策定及び見直しに向けた支援

災害ボランティア関連の研修を通して、市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直しを働きかけることにより、災害支援体制構築の支援を行った。

(2) 災害ボランティア事前登録システムの構築

事前登録の機能を含め、被災者のボランティアニーズ管理などにも活用可能で災害ボランティアセンターの運営を一体的に支援するシステムを構築した。

①災害ボランティアセンター運営支援システムの構築

導 入 日 令和7年7月23日（水）

使用したクラウドサービス kintone（キントーン）

構築した業務アプリ ①事前登録

②活動予約

③当日受付

④ニーズ管理

⑤資機材データベース

活 用 実 績 ①8月19日から大雨により設置された仙北市災害ボランティアセンターでのボランティア調整業務（一斉送信メールによる事前登録者への情報発信、ボランティアの活動予約、ボランティアの受付、被災者のボランティアニーズ管理）

②大雪により支援活動を実施した市町村社協のボランティア調整業務（被災者のボランティアニーズ管理）

ブリーフィング 令和7年7月25日（金）

登録受付開始日 令和7年7月25日（金）

登 録 件 数 515件（491個人、24団体）※令和8年3月31日時点

(3) 市町村社協保有資機材の把握

本県における円滑な災害ボランティア活動に資するため、各市町村社協における災害ボランティア活動に使用する資機材の保有状況を把握した。

(4) 市町村社協 kintone 勉強会の実施

災害ボランティアセンター運営支援システムの効果的な使い方を学ぶための勉強会を開催した。

期日	内容	参加社協数
令和7年12月17日（水）	概要説明	16
令和7年12月24日（水）	事前登録アプリの説明	11
令和8年1月14日（水）	活動予約・当日受付アプリの説明	13
令和8年1月21日（水）	ニーズ管理アプリの説明	12
令和8年3月4日（水）	資機材データベースの説明と調査依頼	10

形 式 オンライン

説明者 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部職員

対 象 市町村社会福祉協議会職員等

(5) 災害支援体制等に関する状況調査の実施

対 象 市町村社会福祉協議会（回答率 100%）

内 容 行政との災害ボランティアセンター設置・運営に関する協定締結状況、福祉避難所との関わり、関係団体・企業との連携状況、事業継続計画（BCP）の策定状況、災害発生時における初動体制 等

2 災害ボランティアセンターを担い支える人材の確保と養成

(1) 災害ボランティアコーディネーター養成研修（基礎編・応用編）

〔基礎編〕

期 日 令和7年10月6日（月）～7日（火）

会 場 秋田拠点センターアルヴェ（秋田市）

参加者 39名

内 容 講義・演習「災害支援の全体像と基礎理解」

「被災者ニーズと地域」

「ニーズキャッチとアセスメント」

「災害時のコーディネーション」

「災害時の活動拠点（災害ボランティアセンター）」

「様々なケースへの対応（事例検討）」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

〔応用編〕

期 日 令和7年12月10日（水）～11日（木）

会 場 秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎（秋田市）

参加者 36名（認定者：36名）

内 容 講義・演習「災害時の支援拠点の設置」

「災害ボランティアセンター設置訓練」

「災害ボランティアセンター運営訓練」

「運営支援者としての姿勢とスキル」

「復興・平常時の取組と福祉防災学習」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

(2) 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修

※市町村災害ボランティアセンターサポーター養成研修として実施

期 日 令和8年1月30日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 13 名

内 容 説明「市町村災害ボランティアセンターサポーターの役割と研修のねらい」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

講義「災害ボランティアセンター運営支援者の基本姿勢と知識」

演習「災害ボランティアセンター立ち上げの実践」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李仁鉄 氏

(3) 災害ボランティア活動実践研修会

〔横手市〕

期 日 令和 7 年 12 月 8 日（月）

会 場 雄物川コミュニティセンター（横手市）

参加者 23 名

〔潟上市〕

期 日 令和 7 年 12 月 9 日（火）

会 場 潟上市市民センターかたりあん（潟上市）

参加者 58 名

内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」

「災害初期の地域における支援活動」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李仁鉄 氏

(4) 災害ボランティア活動実地訓練

〔三種町〕

期 日 令和 7 年 10 月 8 日（水）

会 場 三種町八竜農村環境改善センター（三種町）

参加者 79 名（傍聴者含む）

〔小坂町〕

期 日 令和 7 年 10 月 9 日（木）

会 場 小坂町交流センター「セパーム」（小坂町）

参加者 33 名

〔能代市〕

期 日 令和 7 年 12 月 12 日（金）

会 場 能代ふれあいプラザサンピノ（能代市）

参加者 39 名

内 容 講義・演習「災害ボランティアセンターの仕組みや役割について」

「地域の様々な担い手の参加と協力について」

「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李仁鉄 氏

(5) 技術系専門ボランティアとの連携を考える研修会

期 日 令和8年1月20日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 26名

内 容 講義「過去の災害から考える、災害時の実態と災害支援について」

講師 日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部 講師 及川真一 氏

講義「技術系専門 NPO の活動について」

講師 一般社団法人 OPEN JAPAN 副代表 肥田浩 氏

グループディスカッション「災害時の家屋等の対応について」

(6) 災害時の資機材等の調達に係る調整

期 日 令和8年2月24日（火）

令和8年3月10日（火）

令和8年3月23日（月）

応接者 秋田県総合防災課、地域・家庭福祉課

内 容 秋田県が各企業・団体等と締結している災害時の各種支援協定に関し、災害時の資機材等の調達について、県社協にも県と同様に協定の効果が及ぶこと（県社協の依頼により県の協定先が資機材等を手配すること等）について、共有を図った。

(7) 仙北市災害ボランティアセンター運営の振り返り会

①Ⅰ部 期 日 令和8年1月29日（木）

会 場 仙北市社会福祉協議会本所（仙北市）

参加者 7名

内 容 災害ボランティアセンター各班の振り返り

②Ⅱ部 期 日 令和8年1月29日（木）

会 場 仙北市社会福祉協議会本所（仙北市）

参加者 5名

内 容 全体的な振り返り

行政や各種団体との連携等

仙北市社会福祉協議会、秋田県社会福祉協議会（災害福祉支援センター）の今後の活動に向けて

3 災害中間支援組織設立検討会の開催

内閣府モデル事業を活用し、本会が検討会事務局となり、県、NPO、県社協から委員を選任の上、三者連携のもと令和8年度中の災害中間支援組織設立に向けて協議を進めた。

(1) 第1回検討会

期 日 令和7年10月27日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 21 名

内 容 秋田県における災害中間支援組織について ほか

(2) 第 2 回検討会

期 日 令和 7 年 11 月 27 日 (木)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 17 名

内 容 災害中間支援組織設立に向けた検討事項について ほか

(3) 第 3 回検討会

期 日 令和 8 年 1 月 28 日 (水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 21 名

内 容 災害中間支援組織の設立方針 (案) ほか

<事業項目 3 災害福祉広域支援体制の整備>

1 災害福祉広域支援体制整備事業の実施

(1) 秋田県災害派遣福祉チーム員登録基礎研修

① 第 1 回

期 日 令和 7 年 6 月 26 日 (木) ~ 27 日 (金)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 16 名

登録者 16 名

内 容

講義Ⅰ「福祉支援活動の必要性」

講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏

講義Ⅱ「秋田県が目指す災害派遣福祉チームとは」

講師 秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 スタッフ 山谷世明 氏

講義Ⅲ「秋田県災害派遣福祉チーム活動マニュアルの理解」

講師 秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

講義Ⅳ「活動マニュアルの留意点」

講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏

講義Ⅴ「チーム活動の実際」(岩手県 DWAT の大船渡支援)

講師 盛岡赤十字病院医療社会事業部 社会福祉士 小泉進 氏

講義Ⅵ「チーム活動の実際」(秋田県 DWAT の石川県支援)

講師 秋田けやき会デイサービスセンター 管理者 松井浩文 氏

大館市養護老人ホーム成章園 片山貴博 氏

演習ⅠⅡ「活動シミュレーションⅠⅡ」

講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏

ファシリテーター

秋田けやき会デイサービスセンター 管理者 松井浩文 氏

大館市養護老人ホーム成章園 介護福祉士 片山貴博 氏

新屋地域包括支援センターエンデバー

主任介護支援専門員 佐藤友紀 氏

障害者支援施設秋田ワークセンター 介護福祉士 佐藤大志 氏

②第2回

期 日 令和7年9月11日（木）～12日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 30名

登録者 30名

内 容

講義Ⅰ「福祉支援活動の必要性」

講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏

講義Ⅱ「秋田県が目指す災害派遣福祉チームとは」

講師 秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 主事 小林真翔 氏

講義Ⅲ「秋田県災害派遣福祉チーム活動マニュアルの理解」

講師 秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

講義Ⅳ「活動マニュアルの留意点」

講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏

講義Ⅴ「チーム活動の実際」(岩手県 DWAT の大船渡支援)

講師 盛岡赤十字病院医療社会事業部 社会福祉士 小泉進 氏

講義Ⅵ「チーム活動の実際」(秋田県 DWAT の石川県支援)

講師 秋田けやき会デイサービスセンター 管理者 松井浩文 氏

大館市養護老人ホーム成章園 片山貴博 氏

演習ⅠⅡ「活動シミュレーションⅠⅡ」

講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏

ファシリテーター

秋田けやき会デイサービスセンター 管理者 松井浩文 氏

大館市養護老人ホーム成章園 介護福祉士 片山貴博 氏

特別養護老人ホーム高清水寿光園 看護師 佐々木健一 氏

特別養護老人ホームよねしろ 主任相談員 佐々木道 氏

元由利本荘地域生活支援センター 深井秀樹 氏

(2)秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修Ⅰ

期 日 令和7年11月27日（木）～29日（土）

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア（秋田市）

参加者 24名

内 容 講義Ⅰ「近年の動向」

講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏
 講義Ⅱ「福祉支援対象者の理解」
 講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏
 講義Ⅲ「避難所等での各種団体や自治体との連携・支援の在り方」
 講師 さんすい防災研究所 代表 山崎水紀夫 氏
 講義Ⅳ「車中泊避難者の理解と支援の仕方」
 講師 さんすい防災研究所 代表 山崎水紀夫 氏
 講義Ⅴ「避難所等での各種団体との連携の在り方」
 講師 盛岡赤十字病院医療社会事業部 社会福祉士 小泉進 氏
 講義Ⅵ「活動記録の方法と点検並びにスクリーニング方法」
 講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏
 演習Ⅰ～Ⅳ「活動シミュレーションⅠ～Ⅳ」
 講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏
 ファシリテーター
 特別養護老人ホーム魁聖園 施設長 田口由貴子 氏
 指定障がい福祉サービス事業所愛仙 管理者 石川晴久 氏
 大潟村特別養護老人ホームひだまり苑
 介護支援専門員 西山まゆみ 氏
 救護施設玉葉荘 介護福祉士 松岡龍也 氏
 横手市社会福祉協議会地域福祉課 主任 塩田一紀 氏

(3) 秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修Ⅱ

期 日 令和8年1月22日（木）～24日（土）
 会 場 秋田県社会福祉会館
 参加者 20名
 内 容 講義Ⅰ「近年のDWAT活動について」

講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏
 演習Ⅰ～Ⅵ「活動シミュレーションⅠ～Ⅵ」
 講師 日本災害福祉研究会 共同代表理事 都築光一 氏
 ファシリテーター
 成寿苑指定通所リハビリテーション事業所 部長 斉藤隆広 氏
 新屋地域包括支援センターエンデバー
 主任介護支援専門員 佐藤友紀 氏
 障害者支援施設秋田ワークセンター 介護福祉士 佐藤大志 氏
 特別養護老人ホームよねしろ 主任相談員 佐々木道 氏

(4) 市町村災害福祉担当者説明会への協力

期 日 令和7年12月18日（木）
 会 場 オンライン
 参加者 31名

内 容 説明「秋田県災害派遣福祉チーム（秋田県 DWAT）について」
秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員
その他説明事項等

(5) 災害対応準備等実践研修

期 日 令和 8 年 2 月 5 日
会 場 ホテルメトロポリタン秋田（秋田市）
参加者 71 名
内 容 講義「災害体験から考える災害・防災対策」
講義「施設における災害対応準備等の実践、防災グッズの活用」
講師 日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部 講師 及川真一 氏

(6) 秋田県災害派遣福祉チーム活動訓練への参加

期 日 令和 7 年 8 月 31 日（日）
会 場 小坂町交流センター セパーム（小坂町）
参加者 成寿苑指定通所リハビリテーション事業所 部長 斉藤隆広 氏
大館市養護老人ホーム成章園 介護福祉士 片山貴博 氏
地域密着型特別養護老人ホームはなわあいの 施設長 兎澤隆伸 氏
障害者支援施設更望園 奈良真緒 氏
期 日 令和 8 年 1 月 31 日（日）
会 場 美郷町北体育館（美郷町）
参加者 指定障がい福祉サービス事業所愛仙 管理者 石川晴久 氏
後三年鴻声の里 丸山めぐみ 氏
後三年鴻声の里 小林由美子 氏

(7) 秋田県孤立集落状況把握・支援訓練への参加

期 日 令和 7 年 9 月 23 日（土）
会 場 男鹿市旧北陽小学校（男鹿市）
参加者 救護施設玉葉荘 介護福祉士 松岡龍也 氏
新屋地域包括支援センターエンデバー 主任介護支援専門員 佐藤友紀 氏
特別養護老人ホーム高清水寿光園 看護師 佐々木健一 氏
特別養護老人ホームよねしろ 主任相談員 佐々木道 氏
特別養護老人ホーム寿恵園 船木裕人 氏

(8) 秋田県災害福祉支援センターにかかるアドバイザー契約

特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク李仁鉄理事長と秋田県災害福祉支援センターに関して、専門的知識・技術に基づく助言・指導等を仰ぐためアドバイザー契約を締結した。

期 間 令和 7 年 7 月 1 日（火）～令和 8 年 3 月 31 日（火）

2 災害時の広域支援ネットワーク会議の開催

(1) 社会福祉施設災害ネットワーク会議（再掲）

(2) 災害福祉広域支援ネットワーク会議

第1回

期 日 令和7年6月24日（火）

会 場 秋田県ゆとり創造センター遊学舎（秋田市）

参加者 22名

内 容 災害中間支援組織について
令和7年度災害派遣福祉チーム養成研修について

第2回

期 日 令和8年2月12日（水）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 15名

内 容 災害福祉支援体制強化等事業について
令和7年度災害派遣福祉チーム員の養成研修について

3 福祉施設・事業所の事業継続計画（BCP）運用支援

(1) BCPの効果的な運用に向けた研修会

期 日 令和7年7月22日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 114名

内 容 講義Ⅰ「被災地の実際とBCPの必要性」
講義Ⅱ「機能するBCPとするためのポイント」
グループワーク「BCP策定（修正）を通じて備えとしてできることを考える」
講師 Office SONOZAKI 代表 園崎秀治 氏

(2) BCP避難訓練等実施体験事業

期 日 令和7年11月19日（水）

会 場 特別養護老人ホームなごみの家他（大仙市）

参加者 19名

内 容 講義「事業継続計画（BCP）における大切なポイント」
「BCP風水害編実働訓練」
「振り返り」
講師 Office SONOZAKI 代表 園崎秀治 氏

(3) BCPの策定・見直し支援

BCPの効果的な運用に向けた研修会参加者を対象に、研修会を受講したことによる施設・事業所のBCPの策定・見直しに関する調査を実施した。

調査期間 令和8年3月16日（月）～31日（火）

調査結果 研修会を参考に策定した2施設、見直しした35施設、合計37施設

4 災害時に中核的な役割を担う社会福祉施設等の整備モデル事業

全国社会福祉協議会のモデル事業を活用し、災害派遣福祉チームの受援体制の検討や福祉避難所設置訓練等を行った。

(1) DWAT 炊き出し訓練

期 日 令和7年12月26日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 8名

内 容 DWAT チーム員を受け入れる際に必要な食事を提供する炊き出し訓練

(2) モデル施設を選定したシミュレーション訓練

期 日 令和8年1月21日（水）

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア（秋田市）

参加者 20名

内 容 事業趣旨説明

災害派遣福祉チームシミュレーション訓練

拠点設置シミュレーション訓練

福祉避難所設置運営シミュレーション訓練

(3) 能登半島地震派遣 DWAT チーム員振り返り会議

期 日 令和8年1月23日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 11名

内 容 ワークショップ「能登半島地震における DWAT チーム活動で感じた問題点と今後に向けた課題」

(4) 第2回災害福祉広域支援ネットワーク会議（再掲）

《基本方針 3 福祉サービスの基盤づくり》

推進項目 1 福祉人材の確保・育成・定着の推進

<事業項目 1 福祉人材のマッチングの促進>

1 求人・求職開拓の推進

(1) 福祉人材キャリア支援専門員による事業所訪問の推進

事業所訪問数	624 か所
関係機関訪問数	631 か所
計	1,255 か所

(2) 福祉人材キャリア支援専門員による求職者の開拓

介護のお仕事セミナー	131 回
再就職支援セミナー	12 回
計	143 か所

(3) 福祉人材情報システム（COOL システム）への登録促進

新規求人事業所数	541 か所
有効求人事業所数	1,311 か所

2 無料職業紹介機能の強化

(1) 福祉人材センターにおける求人・求職相談、登録受付状況

区 分	実 績	対前年増減	月平均
新規求人数（名）	1,812	△178	151
有効求人数（A）（名）	5,368	△565	447
新規求人事業所数（カ所）	541	△70	45
有効求人事業所数（カ所）	1,311	△256	109
応募・紹介数（名）	92	3	7
採用人数（名）	104	－	9
うちセンター紹介	69	0	6
うち他機関紹介 ※	35	－	3
新規求職者数（名）	436	27	36
有効求職者数（B）（名）	1,324	238	110
有効求人倍率（A／B）（倍）	4.05	－	－

※ 他機関紹介：令和 7 年 4 月より

(2) 福祉人材センターにおける求人・求職相談、登録受付状況

求人相談	3,701 件	月平均 308 件
求職相談	3,561 件	月平均 297 件

(3) 福祉人材キャリア支援専門員による出張相談状況

ハローワークプラザアトリオン	12 回
Workin みんなのお仕事相談会	4 回

求職者との個別面談等	389 回
計	405 回

(4) ふくしのしごと相談会 in イオンモール秋田

期 日 令和 7 年 8 月 2 日（土）

会 場 イオンモール秋田（秋田市）

参加者 55 名（一般・学生 45 名、小学生以下 10 名）

(5) 関係機関主催事業における求職相談・求人及び求職登録の勧奨

①県主催事業

（秋田県あきた未来創造部移住・定住促進課）

「秋田県合同就職面接会」 令和 7 年 6 月 5 日（木）

「秋田県業界研究会」 令和 7 年 12 月 27 日（土）

「秋田県合同就職説明会」 令和 8 年 3 月 1 日（日）～2 日（月）

②秋田県ふるさと定住機構主催事業

「第 1 回あきた就職フェア in 東京」 令和 7 年 7 月 6 日（日）

「第 2 回あきた就職フェア in 秋田」 令和 7 年 8 月 12 日（火）

「第 3 回あきた就職フェア in 東京」 令和 7 年 10 月 26 日（日）

「第 2 回あきた就職フェア in 秋田」 令和 7 年 12 月 29 日（月）

「第 5 回あきた就職フェア in 東京」 令和 8 年 2 月 15 日（日）

③介護労働安定センター秋田支部

「令和 7 年度介護労働講習」 令和 7 年 7 月 24 日（木）

秋田介護労働懇談会・秋田県中央地域介護労働懇談会 令和 7 年 10 月 30 日（木）

④ハローワーク主催事業

「介護就職デイ」 6 か所 令和 7 年 11 月 10 日（月）～21 日（金）

「由利地域合同企業説明会」 令和 7 年 11 月 25 日（火）

(6) 関係機関との情報交換、事業協力関係の強化

県や労働局が開催する福祉人材の確保推進に向けた協議会への参画により、各機関が推進する事業に関する情報共有や連携強化に努めた。

<主な連携・参画の状況>

①県主催事業

（秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課）

秋田県福祉人材確保推進協議会 令和 7 年 9 月 22 日（月）

（秋田県健康福祉部長寿社会課）

第 1 回秋田県介護業務「カイゼン」推進会議 令和 7 年 8 月 6 日（水）

第 2 回秋田県介護業務「カイゼン」推進会議 令和 8 年 3 月 19 日（木）

②介護労働安定センター主催事業

秋田介護労働懇談会・秋田県中央地域介護労働懇談会 令和 7 年 10 月 30 日（木）

③秋田労働局主催事業

秋田県介護施設＋Safe 協議会 令和7年11月18日（火）

④ハローワークとの連携・協力

雇用関係助成金に係る雇入登録届件数 1件（R8.1.19事業開始）

3 ふくしのしごと総合フェアの開催

第1回ふくしのしごと総合フェア in 秋田

期 日	令和7年9月13日（土）
会 場	ホテルメトロポリタン秋田（秋田市）
参加者	63名（一般56名、学生7名）
法人数	31法人
求人数	234名
採用数	7名
内 容	・求人事業所との個別面談 ・適性診断・カウンセリング：あきた就職活動支援センター ・福祉の仕事相談：秋田県福祉人材センター ・介護の魅力発信：県長寿社会課 ・来場者特典の配布

第2回ふくしのしごと総合フェア in 秋田

期 日	令和8年3月2日（土）
会 場	ホテルメトロポリタン秋田（秋田市）
参加者	42名（一般36名、学生6名）
法人数	30法人
求人数	173名
採用数	1名
内 容	・求人事業所との個別面談 ・適性診断・カウンセリング：あきた就職活動支援センター ・福祉の仕事相談：秋田県福祉人材センター ・介護の魅力発信：県長寿社会課 ・来場者特典の配布

<事業項目2 福祉人材の確保・定着支援対策>

1 介護の入門的研修事業の実施

(1) 介護入門セミナー

① 県央地区第1回

<1日コース>

期 日	令和7年6月19日（木）
会 場	秋田県社会福祉会館
受講者	7名

<4日コース>

期 日 令和7年6月19日(木)～20日(金)、23日(月)～24日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 16名

②県南地区

<1日コース>

期 日 令和7年7月17日(木)

会 場 よこてシャイニーパレス(横手市)

受講者 6名

<4日コース>

期 日 令和7年7月17日(木)～18日(金)、24日(木)～25日(金)

会 場 よこてシャイニーパレス(横手市)

受講者 9名

③県北地区

<1日コース>

期 日 令和7年9月3日(水)

会 場 能代山本広域交流センター(能代市)

受講者 5名

<4日コース>

期 日 令和7年9月3日(水)～4日(木)、11日(木)～12日(金)

会 場 能代山本広域交流センター(能代市)

受講者 6名

④県央地区第2回

<1日コース>

期 日 令和7年11月12日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 6名

<4日コース>

期 日 令和7年11月12日(水)～13日(木)、20日(木)～21日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 20名

内 容(共通)

講義「介護に関する基礎知識」「介護の基本」「基本的な介護の方法」

「認知症の理解」「介護における安全確保」「障害の理解」

講師 一般社団法人秋田県介護福祉士会 中央支部 副支部長 佐々木誠宏 氏
説明「就労に向けた各種支援について」

秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

2 無資格・未経験者の就労支援（ハートフル雇用）の実施

- (1) ハートフル雇用申込者 4名
ハートフル雇用利用者 3名
ハートフル雇用辞退 1名

3 理学療法士派遣事業の実施

理学療法士を派遣し、身体的負担の少ない介護方法や腰痛予防対策の指導を行った。

〔派遣状況〕

派遣回数（回）	30 回
参加事業所数（カ所）	30 カ所

4 介護人材確保対策研修事業の実施

(1) エルダー・メンター養成研修

- ①期 日 令和7年7月29日（火）
会 場 オンライン
参加者 22名
- ②期 日 令和8年2月3日（火）
会 場 オンライン
参加者 24名
内 容（共通）講義・ペアワーク
「エルダー・メンター制度が機能する社風作り」
「エルダー・メンター制度はこうすれば機能する」
講師 株式会社グッドコミュニケーション 代表取締役 中田康晴 氏

(2) 新人介護従事者定着支援研修

- ①期 日 令和7年9月26日（金）
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 33名
- ②期 日 令和7年12月5日（金）
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 34名
内 容（共通）講義・ペアワーク
「介護職の魅力とキャリアアップ」
講師 株式会社グッドコミュニケーション 代表取締役 中田康晴 氏

(3) 採用力アップセミナー

- 期 日 令和8年2月20日（金）
会 場 オンライン
参加者 16名
内 容 講義
「介護職の魅力ある伝え方・採用ターゲットに合わせた介護職求人の作り方」

講師 株式会社マイナビ 医療福祉キャリア事業運営室

医療福祉キャリア事業統括部 企画推進部 部長 保田修平 氏

(4) 介護のお仕事復職応援セミナー

期 日 令和7年12月17日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 25名

内 容 講義・実技

「介護業界の現状や将来性などについて」

「身体に負担のかからない介助の姿勢や動作、体位変換」

講師 一般社団法人秋田県介護福祉士会

中央支部 副支部長 佐々木誠宏 氏

5 秋田県福祉保健人材・研修センター運営委員会の開催

期 日 令和8年2月6日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

議 題 人材確保関連事業の実施状況について

研修事業の実施状況について

令和8年度に向けた事業実施計画案について

<事業項目3 福祉の仕事への理解促進>

1 中学生の福祉の仕事セミナー事業の実施

<由利本荘市内中学校>※中学生と管内企業ふれあいPR事業に参加

期 日 令和7年7月17日(木)

会 場 ナイスアリーナ(由利本荘市)

参加者 由利本荘市内の10中学校の2年生500名程度

内 容 ①生徒が各企業・法人等のブースを訪問し、仕事内容などの説明を受けるとともに、質疑応答を行った。

②1回あたりの訪問時間を15分とし、小グループであらかじめ指定されたブースを訪問する時間を3回、個人で希望するブースを訪問する時間を2回設け、順にブースを訪問した。

講 師 iKEYAKU ホールディングス株式会社

経営管理本部 人事総務部 人事採用課 責任者 福田香子 氏

社会福祉法人わかば会 障がい者グループホーム

わかばホーム:Wellbeing 山ノ神 管理者 川村悠 氏

<秋田市立土崎中学校>

期 日 令和7年11月13日(木)

参加者 2年生121名、教職員9名

内 容 ①「福祉の仕事セミナー」(介護分野)

②「知的障がい者支援のシゴトから考える福祉」(障害分野)

講 師 特別養護老人ホーム大平荘 課長心得 船木竜介 氏
 本道の街デイサービスセンター 佐藤しずか 氏
 大平荘デイサービスセンター 朝香優一 氏
 指定障害福祉サービス事業所杉の木園 管理者 菅原由真 氏
 指定障害福祉サービス事業所夢・究塾明日葉 管理者 伊藤雅人 氏

2 高校生の福祉の職場体験事業の実施

(1) 体験者数 (単位：名)

高校生	6
-----	---

(2) 体験実施施設種別内訳 (単位：箇所)

乳児院	4
放課後等デイサービス	1
障害者支援施設	1
計	6

3 介護の職場体験事業の実施

(1) 体験者数 (単位：名)

中学生	2
高校生	20
一般	2
合計	24

(2) 体験実施施設種別内訳 (単位：箇所)

特別養護老人ホーム	8
介護老人保健施設	1
ショートステイ	1
デイサービス	12
サ高住	2
計	24

(3) ポスター・チラシの作成及び配布

①事業のPR と参加促進のためのチラシやポスター、Instagram掲載用データを作成
 チラシ 6,100 部、ポスター 260 部

②関係機関への配布

県・市町村教育委員会、中学校・高等学校・短期大学・大学、専門学校、介護福祉士実務者研修実施事業者、ハローワーク、公共施設等

(4) 小冊子の配布

介護の仕事と魅力を紹介する小冊子「介護の仕事ハンドブック」を 7,400 部作成し、
 県内高等学校の 1 年生や介護入門セミナー参加者、ハローワーク出張相談利用者、人材センター来所者等へ配付した。

<事業項目 4 福祉保健従事者研修の充実>

1 福祉保健従事者研修の実施 <別表 1 参照>

(1)行政職員研修 4 コース(4 回) (うち 1 回は職域別研修と合同実施)

(2)段階別研修 11 コース(19 回)

①新任研修 1 コース(2 回)

②中堅研修 1 コース(4 回)

③指導的従事者研修 1 コース(4 回)

④管理者研修 1 コース(2 回)

⑤職域別研修 7 コース(7 回)

(3)特別研修 2 コース(2 回)

(4)人材確保研修 1 コース(2 回)

2 認知症介護関係研修の実施

(1)認知症介護研修 6 コース(8 回) 《別表 2 参照》

(2)認知症介護研修カリキュラム検討委員会

第 1 回 令和 7 年 10 月 7 日 出席者 22 名

第 2 回 令和 8 年 2 月 13 日 出席者 19 名

3 自主企画研修の実施 《別表 2 参照》

(1)従事者向け研修 16 コース(20 回)

4 介護施設等看護実務者研修事業の実施

第 1 回 期 日 令和 7 年 7 月 23 日 (水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 55 名 (集合)

内 容 講義「介護保険制度と看護職員の役割①」

「介護保険制度と看護職員の役割②」

「介護保険施設等における看護職員の役割」

講 師 社会福祉法人 いずみ会 特別養護老人ホーム リンデンバウムいずみ
施設長 豊嶋直美 氏

第 2 回 期 日 令和 7 年 8 月 20 日 (水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 56 名 (集合)

内 容 講義「利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護①-介護事故防止」

「利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護②-感染管理対策」

「利用者の尊厳ある生活を支えるケアと看護③-急変時の対応」

講 師 株式会社 IDO 経営企画室 横江美那子 氏

第 3 回 期 日 令和 7 年 9 月 24 日 (水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 53 名 (集合)

内 容 講義「高齢者の心身の理解」
「認知症高齢者の理解と看護」
「看取りケアの推進」
講 師 社会福祉法人 愛染会 介護老人保健施設 あいぜん苑
ケア統括部長 安田智代 氏（認知症看護認定看護師）

5 訪問介護員の人材養成における基本研修事業

(1) 訪問介護員の人材養成における基本研修事業

期 日 令和8年2月19日(木)～20日(金)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 集合20名
内 容 19日 講義・演習「利用者の『食べる力』を支える食支援」
20日 調理実習 「摂食嚥下・疾患別対応・やわらか食の工夫～」
講 師 19.20日 医療法人社団静実会 ないとうクリニック
在宅訪問管理栄養士 介護食アドバイザー 伊藤清世 氏
ファシリテーター 社会福祉法人 若美さくら会 特別養護老人ホーム 和幸苑
栄養士 佐藤幸美 氏
たにあい糖尿病・在宅クリニック 在宅訪問管理栄養士
石井菜緒 氏

(2) サービス提供責任者初任者研修

期 間 令和7年10月21日(水)、22日(木)、23日(金)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 集合96名
内 容 講義1「訪問介護の意義とサービス提供責任者の責務」
「訪問介護サービス提供プロセスの理解」
「多職種連携におけるサービス提供責任者に必要な視点とスキル」
「スーパービジョン」
「令和6年度改正法改正の具体的な変更内容の取扱い方法」
日本ホームヘルパー協会 名誉会長 因利恵 氏
講義2「アセスメントの視点」「ICFを訪問介護計画書に活かす」
「訪問介護計画書の作り方」
「訪問介護計画書の演習・作成」
合同会社秋田まちとケア協働舎 代表
主任介護支援専門員 鈴木のぞみ 氏

講義3「サービス提供責任者に必要な医療に関する知識と介護・医療との連携」
「認知症の人の理解とケア」

「利用者とヘルパーのためのリスクマネジメント、緊急時対応及び苦情対応について」

「義務化となった介護保険事業所が行う自然災害発生時や感染症対策シミュレーション（BCP）」

由利本荘医師会立 由利本荘看護学校

訪問看護認定看護師 堀尾朗子 氏

(3) 訪問介護事業所管理者ハラスメント対応研修

期 日 令和7年11月29日（土）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 集合20名

内 容 「訪問介護現場でのハラスメントの現状と課題」

「管理者としての必須のハラスメントの対策の必要性和具体策」

講 師 聖隷クリストファー大学 准教授 篠崎良勝 氏

＜事業項目5 介護支援専門員の資格取得の推進＞

1 介護支援専門員養成事業の実施

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験

期 日 令和7年10月12日（日）

会 場 ノースアジア大学（秋田市）

受験申込者 514名

受験者 470名

合格者 107名（合格率22.8%）

(2) 介護支援専門員実務研修

〈前期研修〉

期 日 令和7年12月23日（火）～26日（金）、令和8年1月8日（木）～9日（金）、13日（火）～14日（水）

会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン併用）

受 講 者 104名

〈後期研修〉

期 日 令和8年2月24日（火）～27日（金）、3月9日（月）～11日（水）、3月13日（金）

会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン併用）

3月13日（金）のみ秋田県社会福祉会館に全員参集

受 講 者 104名 修了者 103名

＜事業項目6 たん吸引等特定行為者の育成＞

1 介護職員等によるたんの吸引等研修事業の実施

(1) 喀痰吸引等指導者養成

①第一号及び第二号研修（不特定多数の者対象）

期 日 令和7年5月28日（水）～29日（木）
 会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア（秋田市）
 受講者 30名

②第三号研修（特定の者対象）

期 日 令和7年5月21日（水）
 会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア（秋田市）
 受講者 17名

(2)介護職員等によるたん吸引等研修（第一号・第二号研修）の実施

①基本研修（講義・筆記試験）

基本研修（講義）	筆記試験	講義・試験会場	実地研修
6月17日（火）～ 7月8日（火） （8日間） 50時間の講義＋救急 蘇生法演習 18名受講	7月9日（水） 18名受験 15名合格 再試験 7月15日（火） 2名受験 2名合格 7月18日（金） 1名受験 1名合格	秋田県社会福祉会 館 秋田県中央地区老 人福祉総合エリア	各実地研修施設 において実施 修了者2名

②基本研修（演習）

基本研修（演習）	会場
① 8月20日（水）～22日（金） 8月27日（水）～28日（木） ② 9月3日（水）～5日（金） 9月10日（水）～11日（木） 5行為5日間の演習 17名受講、17名合格	秋田県中央地区老人福祉総合エリア

(3)介護職員等によるたん吸引等研修（第三号研修）の開催

①基本研修

期 日 令和7年7月16日（水）～17日（木）
 会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア（秋田市）
 受講者 17名

②筆記試験

期 日 令和7年7月17日（木）
 受講者 17名、合格者17名

③実地研修

実地研修協力者（利用者）の所在する場所（居宅及び施設等）で指導看護師の指導のもと、実施した。

(4)手技確認講習の実施

①一部履修免除者に対する手技確認講習の開催

受講者 65名、合格者51名（合格率78%）

開催日	受講者	合格者	不合格者
令和7年7月24日（木）～25日（金）	19名	16名	3名
令和7年9月18日（木）～19日（金）	19名	16名	3名
令和7年11月6日（木）～7日（金）	14名	12名	2名

令和8年1月21日（水）～22日（木）	13名	7名	6名
---------------------	-----	----	----

②認定証取得済介護職員等に対するフォローアップ研修の開催

開催日	受講者
令和7年10月22日（水）	5名

(5) 実地研修事業の実施（不特定の者対象）

①実地研修履修者の賠償責任保険の加入管理

演習修了者の実地研修に際し、保険加入手続きを行ったほか、必要に応じ実地研修未修了者の保険再加入手続きを行った（102名）。

②実地研修施設との連絡調整等

実地研修施設として71施設と委託契約を締結し、研修施設としての体制整備や研修の具体的な進め方（評価方法等）、指導看護師との連絡調整、研修に関する相談支援を行った。

③実地研修修了者に対する修了証明書の交付（手技確認講習受講者含む）

〔交付実績〕

（単位：名）

	H28 ～30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
一・二 号	2	0	0	4	10	11	32	6	65

※令和7年4月1日から令和8年3月末までに交付した修了証明書発行延人数

(6) 実地研修事業の実施（特定の者対象）

①実地研修履修者の賠償責任保険の加入管理

基本研修修了者の保険加入手続きを行ったほか、特定の者（受講者37名：利用者27名）の保険加入・更新手続きを行った。

②実地研修施設との連絡調整等

実地研修施設として5施設と委託契約を締結し、研修施設としての体制整備や研修の具体的な進め方（評価方法等）、研修に関する相談支援を必要に応じて行った。

③実地研修修了者に対する修了証明書の交付

〔交付実績〕

三号	全課程	15名	41名
	実地研修のみ	26名	

※令和7年4月1日から令和8年3月末までに交付した修了証明書発行延人数

(7) 研修実施委員会の設置及び委員会の開催

①研修実施委員会の開催

期 日 令和8年2月17日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 令和7年度進捗状況について
令和8年度研修計画について
試験判定委員の継続について
委員改選に伴う学識経験者の推薦について

②試験判定部会の開催

期 日 令和7年4月18日（金）

令和7年6月6日（金）

令和7年7月31日（木）

令和7年8月29日（木）

令和7年9月26日（金）

令和7年11月11日(火)

令和7年12月19日(金)

令和8年1月30日(金)

令和8年3月6日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 演習(基本演習・手技確認講習)の結果判定
実地研修の修了判定等
講義筆記試験の内容検討
講義、演習等の内容検討

(8) 登録・管理業務

①登録特定行為事業者登録申請	14施設
②登録喀痰吸引等事業者申請	2施設
③登録特定行為事業者登録更新申請	6施設
④認定特定行為業務従事者認定証申請	232名
⑤原本証明願申請	8名
⑥認定特定行為業務従事者認定証変更申請	9名
⑦喀痰吸引等研修における実地研修施設登録(変更)届出	4施設
⑧登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録	随時
⑨登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)登録辞退届出	2施設

<事業項目7 福祉系資格取得者への経済的支援>

1 介護福祉士等修学資金貸付事業の実施

(1) 介護福祉士修学資金貸付事業

①通常貸付

ア 平成30年度～令和6年度貸付決定件数	155件
令和7年度貸付額	23,860千円
イ 令和7年度新規貸付決定件数	11件
令和7年度貸付決定総額	16,020千円
令和7年度貸付額	8,560千円

②早期貸付(入学前に入学準備金を貸付)

令和8年度入学者新規貸付決定件数	1件
令和7年度貸付決定総額	1,400千円
令和7年度貸付額	200千円(入学準備金)

(2) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業

貸付決定件数	45件
貸付決定総額	8,559千円
貸付額	8,359千円
※決定後辞退	1件(200千円)

(3) 離職した介護人材の再就職準備金貸付事業

貸付決定件数	6件
貸付決定総額	2,300千円

貸付額	2,300 千円
(4) 障害福祉分野就職支援金貸付事業	
新規貸付決定分	2 件
貸付決定総額	400 千円
貸付額	400 千円

2 福祉系高校修学資金等貸付事業の実施

(1) 福祉系高校修学資金貸付事業

① 過年度決定件数（継続）	1 件
令和 7 年度貸付額	270 千円
② 令和 7 年度新規貸付決定件数	0 件
令和 7 年度貸付決定総額	0 千円
令和 7 年度貸付額	0 千円

(2) 介護分野就職支援金貸付事業

新規貸付決定件数	19 件
貸付決定総額	3,618 千円
貸付額	3,352 千円
※ 決定後辞退	1 件（200 千円）
※ 過年度貸付決定者分	1 件（134 千円）

3 保育士修学資金貸付事業

(1) 修学資金

① 過年度決定件数（継続）	92 件
令和 7 年度貸付額	47,160 千円
② 令和 7 年度新規貸付決定件数	61 件
令和 7 年度貸付決定総額	61,248 千円
令和 7 年度貸付額	31,680 千円

(2) 入学準備金

令和 7 年度新規貸付決定件数	51 件
令和 7 年度貸付決定総額	7,480 千円
令和 7 年度貸付額	7,480 千円

(3) 就職準備金

① 過年度決定件数	88 件
令和 7 年度貸付額	17,600 千円
② 令和 7 年度新規貸付決定件数	59 件
令和 7 年度貸付決定総額	11,750 千円
令和 7 年度貸付額	1,200 千円

推進項目 2 福祉サービスの質の向上と社会福祉経営基盤の強化

<事業項目 1 法人経営の基盤強化と財源の確保>

1 福祉サービス第三者評価の実施

(1) 福祉サービス第三者評価の実施

福祉サービスの質の向上のため、福祉サービス第三者評価機関として 5 施設の評価を実施した。

秋田婦人ホーム（母子生活支援施設）

聖園天使園（児童養護施設）

東山学園（障害者支援施設）

東山学園（福祉型障害児入所施設）

あさひ保育園（保育所）

(2) 調査者の育成

①秋田県福祉サービス第三者評価調査者フォローアップ研修

修了者 7 名

<事業項目 2 介護サービス情報公表の実施>

1 介護サービス情報の公表事業の実施

(1) 介護サービス事業所の調査及び介護サービス情報の公表に関する計画の策定

公表対象事業所が報告する介護サービス情報の受理・調査・公表の事務を適正に実施するため、報告計画、調査計画及び公表計画を定めた。

・公表計画件数 1,881 件

（報告のみの計画件数 1,147 件、報告及び調査の計画件数 734 件）

(2) 介護サービス情報の公表

公表計画に沿って対象事業所から報告された情報について、確認のうえ受理し公表した。

・公表件数 1,878 件（うち調査員が事業所訪問した調査件数 715 件）

(3) 調査員フォローアップ研修

県北地区

期 日 令和 7 年 8 月 21 日（木）

会 場 能代市二ツ井公民館（能代市）

参加者 6 名

中央地区

期 日 令和 7 年 8 月 25 日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 19 名

県南地区

期 日 令和 7 年 9 月 2 日（火）

会 場 美郷町中央ふれあい館（美郷町）

参加者 11 名

(4) 介護サービス情報公表手数料の徴収

秋田県介護サービス情報指定情報公表センターとして、対象事業所からの手数料徴収事務を実施した。

<事業項目 3 施設経営に関する相談支援>

1 経営相談・指導と研修の実施

(1) 相談指導の実施

常勤指導員 1 名（専任 1 名）及び非常勤指導員 9 名（弁護士 3 名、公認会計士 3 名、社会保険労務士 3 名）を配置し、相談指導を実施した。

① 一般相談（月～金）

相談件数 24 件

② 専門相談（法律、会計税務、社会保険労務相談）

相談件数 36 件

ア 施設種別別の相談状況

（単位：件）

施設種別 相談方法		障害 施設	児童 施設	老人 施設	その 他	法人 本部	小計	合計
訪問相談	常勤指導員			2			2	2
	非常勤指導員							
来所相談	常勤指導員					1	1	17
	非常勤指導員	1		4	2	9	16	
電話文書	常勤指導員	2		1	2	16	21	41
	非常勤指導員		7	7	2	4	20	
小計	常勤指導員	2		3	2	17	24	60
	非常勤指導員	1	7	11	4	13	36	
合 計		3	7	14	6	30	60	

イ 相談事項別の内容件数

（単位：件）

相談方法 相談内容	訪問相談		来所相談		電話文書		小計		合計
	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	
①施設経営一般	1		1	2	7	1	9	3	12
②会計税務		1			4	18	4	19	23
③入所者処遇				3	1		1	3	4
④職員待遇			1	1	1		2	1	3

⑤安全防災									
⑥衛生管理					1		1		1
⑦施設整備			1		1		2		2
⑧人材確保対策									
⑨労使問題				6	1		1	6	7
⑩預り金									
⑪地域交流									
⑫その他				3	5		5	3	8
小 計	1	1	3	15	21	19	25	35	60
合 計	2		18		40		60		

(2) 広報活動・情報の提供

①専門相談日・担当者に関する情報の提供

随時相談を受付けていることを必要に応じ、ホームページやメールマガジンにより情報提供した。

②社会福祉制度に関する情報の提供

厚生労働省及び全国社会福祉法人経営者協議会、全社協関係資料を中心に、必要に応じて情報を提供した。

(3) 法人・役員等研修会の開催（経営協と共催）

①秋田県経営協前期セミナー

期 日 令和7年8月27日（水）

会 場 アキタパークホテル（秋田市）

参加者 68名

内 容 講義「社会福祉法人 2040年には間に合う？～昨今の社会保障・社会福祉をめぐる動向と全国経営協の取り組みを踏まえて」
 全国青年会取組報告・入会PR「全国青年会がいまめざしていること～各委員会の取り組み」
 講義「カスタマーハラスメントから職員を守るー社会福祉法人に求められる組織的対応とトップの責任ー」

②秋田県経営協後期セミナー

期 日 令和8年2月20日（金）

会 場 アキタパークホテル（秋田市）

参加者 59名

内 容 講義「社会福祉法人は“国宝”！社会から認められる法人を目指す～昨今の社会保障・社会福祉をめぐる動向と全国経営協の取り組みを踏まえて」
 全国青年会入会促進PR「全国青年会がいま目指していること～各委員会の取り組み～」
 講義「DX 推進が拓く福祉の未来～まずは第一歩！バックオフィス業務の効率化～」

2 種別協議会・団体への支援

各種種別協議会・団体の運営についてサポートを行うとともに、研修会の開催等により会員事業所職員の資質向上を図った。

- (1) 秋田県社会福祉法人経営者協議会
- (2) 秋田県老人福祉施設協議会
- (3) 秋田県母子福祉協議会
- (4) 秋田県社会就労センター協議会
- (5) 秋田県民生児童委員協議会
- (6) 秋田県ホームヘルパー協議会
- (7) 秋田県ボランティア団体連絡協議会
- (8) 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会
- (9) 市町村社会福祉協議会連絡協議会
- (10) 秋田県知的障害者福祉協会
- (11) 秋田県知的障害児者生活サポート協会
- (12) 秋田県障害福祉団体協議会
- (13) 秋田県コミュニティソーシャルワーク実践研究会

<事業項目4 苦情解決体制の強化>

1 運営適正化委員会事業

(1) 選考委員会

期 日 令和7年12月4日（木）

内 容 委員長、副委員長の選任について

秋田県運営適正化委員会欠員補充委員の選任について

出席者 委員7名 県社協1名

期 日 令和8年3月3日（火）※書面審査

内 容 任期満了に伴う秋田県運営適正化委員会委員の選任について
委員9名（回答）

(2) 運営適正化委員会（オンライン併用）

期 日 令和7年4月8日（火）

内 容 令和6年度秋田県運営適正化委員会事業報告について

令和7年度秋田県運営適正化委員会事業計画について

出席者 委員7名 県担当者1名

(3) 運営監視小委員会（オンライン併用）

第1回 期 日 令和7年7月8日（火）

内 容 令和6年度日常生活自立支援事業の実施状況及び令和7年度の事業
運営について

日常生活自立支援事業の実施に関する要望について（回答）

- 各社協における日常生活自立支援事業の状況報告について
(八郎潟町社協、藤里町社協)
- 第2回 出席者 委員3名、県担当者1名、専門員2名
期 日 令和8年1月13日(火)
内 容 各社協における日常生活自立支援事業の状況報告について
(能代市社協、潟上市社協、横手市社協)
現地調査の報告について
- 第3回 出席者 委員6名、県担当者欠席、専門員3名
期 日 令和8年3月10日(火)
内 容 現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状況報告について(三種町社協、秋田市社協、湯沢市社協)
令和7年度の現地調査結果による県社協への要望について(案)
次年度の事業予定について
- 出席者 委員6名、県担当者1名、専門員3名
- (4) 苦情解決小委員会(オンライン併用)
- 第1回 期 日 令和7年5月13日(火)
内 容 苦情相談(3月～4月分)の報告について
令和7年度苦情解決研修会初級編について
- 出席者 委員4名、県担当者1名
- 第2回 期 日 令和7年7月8日(火)
内 容 苦情相談(5月～6月分)の報告について
令和7年度苦情解決研修会初級編の結果報告について
- 出席者 委員6名、県担当者1名
- 第3回 期 日 令和7年9月9日(火)
内 容 苦情相談(7月～8月分)の報告について
令和7年度苦情解決研修会中級編の申込状況について
- 出席者 委員5名、県担当者1名
- 第4回 期 日 令和7年11月11日(火)
内 容 苦情相談(9月～10月分)の報告について
令和7年度苦情解決研修会メンタルヘルス編の実施状況について
- 出席者 委員6名、県担当者1名
- 第5回 期 日 令和8年1月13日(火)
内 容 苦情相談(11月～12月分)の報告について
令和7年度巡回訪問の結果報告について
令和7年度苦情解決研修会アンケート結果について
- 出席者 委員6名、県担当者欠席
- 第6回 期 日 令和8年3月10日(火)
内 容 苦情相談(1月～2月分)の報告について
次年度の事業予定について

出席者 委員 6 名、県担当者 1 名

(5) 現地調査等による運営監視の実施

運営監視小委員会を年 3 回開催し、福祉サービス利用援助事業を実施している市町村社協 6 カ所における事業の実施状況や金銭の管理、生活支援の状況について現地調査を行い、改善を要する事項等について助言した。

また、今年度訪問しなかった社会福祉協議会 6 カ所の専門員から取組み状況の報告を受けた。

①運営監視小委員会：現地調査

期 日	訪 問 先	訪問委員等
令和 7 年 7 月 2 日（水）	男鹿市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	事務局 1 名
令和 7 年 7 月 10 日（木）	羽後町社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 2 名
令和 7 年 7 月 11 日（金）	にかほ市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 2 名
令和 7 年 7 月 15 日（火）	大館市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 2 名
令和 7 年 7 月 16 日（水）	仙北市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1 名 事務局 2 名
令和 7 年 8 月 8 日（金）	五城目町社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	事務局 1 名

②運営監視小委員会における専門員からの実施状況聞き取り（再掲）

対象 八郎潟町、藤里町、能代市、潟上市、横手市、三種町、秋田市、湯沢市の社会福祉協議会

(6) 巡回訪問

社会福祉事業者における苦情が適切に解決されるよう、委員が事業所を訪問して苦情解決体制の整備状況や苦情解決相談の状況について調査し、必要な助言を行った。

事業区分	施 設 名	訪 問 日
高齢者福祉施設	秋田聖徳会養護老人ホーム	令和 7 年 10 月 22 日（水）
	きららショートステイ	令和 7 年 10 月 27 日（月）
	ショートステイすこやか横手	令和 7 年 11 月 05 日（水）
障害者福祉施設	障がい者支援施設ほくと	令和 7 年 10 月 21 日（火）
児童福祉施設	旭保育園	令和 7 年 10 月 27 日（月）
	白百合ホーム	令和 7 年 12 月 02 日（火）

(7) 苦情解決研修会

事業所の苦情受付担当者及び苦情解決責任者を対象に、事業所における適切な対応や相談技術の習得及び向上を図ることを目的として実施した。

第 1 回苦情解決研修会 〔初級編〕（2 回）

期 日 ①令和 7 年 6 月 4 日（水）

②令和7年6月11日（水）
 会 場 オンライン
 参加者 ①57名
 ②46名
 内 容 講義
 「クレームはどうして起きるのか。怒りの心理背景とその対応の心構えを学ぶ。」
 講師 ブレークステート代表 吉田こうじ 氏

第2回苦情解決研修会〔中級編〕（2回）

期 日 ①令和7年9月24日（水）〔高齢対象〕
 ②令和7年9月25日（木）〔障害・児童・社協対象〕
 会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア（秋田市）
 参加者 ①24名
 ②24名
 内 容 講義・演習「苦情を予防する基本的な知識と関係構築のコツを学ぶ。」
 講師 ブレークステート代表 吉田こうじ 氏

第3回苦情解決研修会〔メンタルヘルス編〕

期 日 令和7年11月4日（火）
 会 場 オンライン
 参加者 49名
 内 容 講義・演習
 「自分と向き合い、燃え尽きを防ぎ、受け止めすぎない聴き方を学びます。」
 講師 ブレークステート代表 吉田こうじ 氏

(8) 広報・啓発活動の促進

事業報告書の本会ホームページへの掲載、苦情解決に関する事業者用掲示ポスター及びパンフレットの関係機関への配布、市町村広報への掲載依頼を通して、広報・啓発活動を行った。

(9) 苦情解決事業の状況

福祉サービスの利用者及び家族等からの苦情や相談を電話・来所・FAX・メール等で受け付け、助言や他機関の紹介により解決を図ったほか、必要に応じ電話による状況把握を行い解決に結びつけた。
 （単位：件）

受付方法	苦情	相談
来所	1	1
書面・電話等	13	19
合計	14	20
	34	

※令和8年3月末現在

福祉保健従事者研修（秋田県福祉保健研修センター委託研修）実施状況

(別紙1)

区分	研 修 名 (コース・回数)		令和 7 年度					
			実施日	日数	受講定員	申込者数	実人数	延人数
行政	1. 新任生活保護担当職員基礎研修		8/25・9/9	2	30	35	35	64
	2. 新任査察指導員基礎研修		8/26・9/10	2	10	6	6	10
	3. 課題別研修(事例検討)		10/24	1	15	7	7	6
	4. 地域福祉推進研修(職域研修と合同実施)		2/19-20	2	50	4	4	6
	4コース	4回		7	105	52	52	86
新任	5. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース (第1回)		6/4-5	2	50	58	56	110
	初任者コース (第2回)		7/14-15	2	50	60	56	111
	1コース	2回		4	100	118	112	221
	6. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース (第1回)		6/17-18	2	70	59	59	116
中堅	中堅職員コース (第2回)		7/16-17	2	70	63	63	120
	中堅職員コース (第3回)		9/2-3	2	70	55	50	100
	中堅職員コース (第4回)		12/1-2	2	70	35	30	56
	1コース	4回		8	280	212	202	392
	7. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース (第1回)		6/25-26	2	70	43	41	82
指導的 従事者	チームリーダーコース (第2回)		8/18-19	2	70	49	43	86
	チームリーダーコース (第3回)		9/16-17	2	70	46	46	92
	チームリーダーコース (第4回)		12/11-12	2	70	63	44	88
	1コース	4回		8	280	201	174	348
	8. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース (第1回)		7/1-2	2	50	28	27	52
管理者	管理職員コース (第2回)		11/4-5	2	50	33	31	60
	1コース	2回		4	100	61	58	112
	9. 研修担当職員研修		11/19-20	2	60	60	57	104
職域別	10. 地域福祉推進研修 (行政研修と合同実施)		2/19-20	2	50	15	12	23
	11. 施設等相談援助職員研修		12/4-5	2	70	30	30	54
	12. 保育施設保育士研修		7/30-31	2	50	9	9	18
	13. 福祉保健施設・事業者等看護職員研修		9/1	1	80	55	55	54
	14. 福祉保健施設・事業者等事務職員研修		7/3	1	70	75	73	73
	15. 施設給食担当職員研修		8/29	1	80	100	97	97
	7コース	7回		11	460	344	333	423
	16. 課題別研修Ⅰ「これからの支援・連携をよりよいものにするために～『つながる』ことの重要性を見直してみよう～」		9/5	1	60	34	34	30
17. 課題別研修Ⅱ「福祉実践inあきた」		12/16	1	100	19	18	18	
特別	2コース	2回		2	160	53	52	48
	18. エルダー・メンター養成研修 (オンライン)		7/29	1	30	27	27	22
			2/3	1	30	27	27	24
人材確保	1コース	2回		2	60	54	54	46
	18コース	27回		46	1,545	1,095	1,037	1,676

自主企画研修・認知症介護研修実施状況

(別紙2)

区分	研 修 名 (コース・回数)		令和 7 年度					
			実施日	日数	受講 定員	申込 者数	実人数	延人数
従 事 者 向 け 研 修	1	介護記録の理解と実践 (基礎コース)	6/24	1	80	51	51	50
		介護記録の理解と実践 (応用コース)	9/4	1	80	59	59	49
	2	介護現場のカスタマーハラスメントの予防と防止 (オンライン)	1/27	1	60	64	60	55
	3	メンタルヘルス研修	12/22-23	2	50	30	28	27
	4	リスクマネジメント研修	11/7	1	80	113	113	113
	5	トップマネジメント研修 (中止)	11/25-26	2	50	7	0	0
	6	調理技術研修 (3回)	6/19	1	24	26	24	24
			10/23	1	24	27	27	27
			11/18	1	24	27	25	24
	7	怒りのマネジメント研修 (オンライン)	2/9	1	90	57	53	51
	8	OJTリーダー研修 (オンライン)	1/28	1	90	75	74	73
	9	コミュニケーション向上研修 (オンライン)	1/21	1	80	50	49	49
	10	説明力・説得力強化研修 (オンライン)	2/18	1	90	57	56	56
	11	ビジネスマナー向上研修	6/13	1	50	45	43	42
	12	タイムマネジメント研修 (オンライン)	2/4	1	80	39	38	34
	13	虐待・ハラスメント防止研修	9/29	1	90	118	115	115
	14	施設・社協職員のためのファシリテーション基礎講座	5/27-28	2	50	47	45	86
	15	コーチング研修 (オンライン+集合)	9/12・10/8	2	60	59	59	116
	16	☎サービス力向上と職員定着を促す人事評価制度の作り方	10/10	1	50	28	28	24
	17	☎社会福祉法人会計担当者研修 初級コース (オンライン)	9/25	1	75	65	62	62
		☎社会福祉法人会計担当者研修 中級コース (オンライン)	9/26	1	75	47	47	46
	17コース 21回			23	1,302	1,084	1,056	1,123
認 知 症 介 護 研 修	1	認知症介護基礎研修	7/4	1	80	82	79	74
	2	認知症介護実践者研修 (2回)	5/20-8/8	6	80	78	68	68
			8/26-11/14	6	80	91	80	76
	3	認知症介護実践リーダー研修	10/1-12/9	7	40	41	41	40
	4	認知症対応型サービス事業管理者研修 (2回)	10/21-22	2	30	28	28	27
			3/4-5	2	30	16	16	16
	5	認知症対応型サービス事業開設者研修	5/16	1	30	6	6	6
	6	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	1/22-23	2	30	10	10	10
	6コース 8回			27	400	352	328	317

《基本方針 4 組織・経営基盤の強化》

推進項目 1 法人経営の基盤強化と財源の確保

<事業項目 1 透明・公正な組織運営の推進>

1 役員会の開催

(1) 正副会長会議

回	期 日	主 な 議 題
1	令和 7 年 5 月 22 日（木）	・ 理事会への提出議案等について
2	令和 7 年 6 月 17 日（火）	・ 副会長の順位指名について
3	令和 7 年 9 月 4 日（木）	・ 令和 7 年度秋田県社会福祉大会について ・ 令和 7 年度県社協会長表彰について ・ 理事会への提出議案等について
4	令和 7 年 12 月 19 日（金）	・ 令和 7 年度上期の予算執行状況について ・ 令和 8 年度県補助金及び受託金の要望状況について ・ 災害支援に係るモデル事業の実施について ・ 災害ボランティア基金の取り扱いについて ・ 次期秋田県社会福祉会館の指定管理者の指定について ・ 令和 8 年度職員採用について
5	令和 7 年 3 月 4 日（水）	・ 理事会への提出議案等について

(2) 理事会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和 7 年 5 月 29 日（木）	・ 令和 6 年度事業報告（案）について ・ 令和 6 年度一般会計収支決算（案）及び令和 6 年度生活福祉資金一般会計収支決算（案）について ・ 評議員選任・解任委員の選任について ・ 役員の選任の提案について ・ 評議員の選任に係る同意について ・ 令和 7 年度第 1 回評議員会（定時評議員会）の招集について
2	令和 7 年 6 月 17 日（火）	・ 会長、副会長及び常務理事の選定について ・ 評議員の選任について
3	令和 7 年 9 月 8 日（月）	・ 令和 7 年度一般会計補正予算（案）について ・ 評議員選任・解任委員の選任について ・ 評議員候補者の選任に係る同意について ・ 令和 7 年度第 2 回評議員会の招集について

回	期 日	主 な 議 題
4	令和8年3月9日（月）	・定款の変更について ・事務局規程等の一部改正について ・職員給与規程等の一部改正について ・令和7年度一般会計第2次補正予算（案）及び令和7年度生活福祉資金会計補正予算（案）について ・令和8年度事業計画（案）について ・令和8年度一般会計予算（案）及び令和8年度生活福祉資金会計予算（案）について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・令和7年度第3回評議員会の招集について

(3) 監事会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和7年5月19日（月）	・令和6年度事業報告（案）について ・令和6年度一般会計収支決算（案）及び令和6年度生活福祉資金会計収支決算（案）について
2	令和7年11月28日（金）	・令和7年度上期事業実施状況について ・令和7年度一般会計及び令和7年度生活福祉資金会計上期決算について

(4) 評議員選任・解任委員会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和7年6月5日（木）	・評議員の選任について
2	令和7年9月17日（水）	・評議員の選任について

2 評議員会の開催

回	期 日	主 な 議 題
1	令和7年6月17日（火）	・令和6年度事業報告（案）について ・令和6年度一般会計収支決算（案）及び令和6年度生活福祉資金会計収支決算（案）について ・理事の選任について
2	令和7年10月10日（金）	・令和7年度一般会計補正予算（案）について
3	令和7年3月17日（火）	・定款の変更について ・令和7年度一般会計第2次補正予算（案）及び令和7年度生活福祉資金会計補正予算（案）について ・令和8年度事業計画（案）について ・令和8年度一般会計予算（案）及び令和8年度生活福祉資金会計予算（案）について

3 事業評価の推進

事業(業務)管理シートを基に重点事業の到達目標や達成度等を組織全体で確認・共有し、事業内容及び予算を精査して効果的な事業推進を図った。

<事業項目2 会員の拡大と自主財源の充実>

1 会員制度の周知と会員拡大、会員サービスの充実

本会ホームページに入会手続きに関する案内を掲載し、新規開設施設に対し情報を提供するとともに、過去に発注・契約の実績のある企業に対しては賛助会員としての加入を働きかけた。

〈令和7年度新規加入施設〉

一般会員 10 ヲ所(老人福祉施設:9、保育所:1)

賛助会員 4 ヲ所

2 自主財源の充実

(1) 図書販売斡旋

(単位:冊)

	全社協出版部				その他 出版社	合 計
	書籍	手帳	その他	小計		
販売冊数	371	3,129	0	3,500	0	3,500

(2) 秋田県火災共済契約事業の促進 (単位:件)

	契約件数 (継続含む)
火災共済	329
自動車共済	884

(3) 自動車リースの促進 (単位:台)

	契約台数 (継続含む)
社会福祉協議会	65
社会福祉施設等	182

(4) 家庭用常備薬の斡旋 (単位:円)

	金 額
手数料収入	81,453

<事業項目3 危機管理体制の構築>

1 事業継続計画 (BCP) の見直しと実施

事業継続計画 (BCP) における災害時優先業務の見直しを行い、緊急時の対応に向けた協議を行ったほか、災害発生時に職員の安否確認を迅速に行うため、グループウェアを活用した安否確認テストを実施した。

<事業項目4 秋田県社会福祉会館の適正な運営>

1 秋田県社会福祉会館の適正な運営及び利用者の拡大

(1) 社会福祉会館及び心身障害者総合福祉センターの利用促進

①利用者の開拓

企業・団体等への訪問開拓、グーグルストリートビューの活用などにより利用者の開拓・利用促進に努めた。

企業・団体等への訪問開拓件数 延べ1,116 企業・団体

ダイレクトメールによる PR 件数 4 カ所

②自主事業の実施

ア 会館フェスティバル

令和7年8月3日(土)～6日(火) 参加者 延べ600名

イ 社会福祉会館最新介護機器等展示会

令和7年11月21日(金) 参加事業所23事業所、参加者 延べ120名

ウ 知的障害者・精神障害者施設作品・加工物等の出店販売

エントランスホール等で定期移動販売の場所及び機会の提供の調整を行った。

年63回実施 260名の施設利用者・職員が参加

エ 特別支援学校生徒等の作品展示

令和8年1月7日(月)～2月20日(金)

県立きらり支援学校他特別支援学校4校、福祉会館近隣保育園2園

オ 秋田県障害者福祉展入賞作品展示

令和8年3月6日(金)～3月13日(金)

2個人の作品展示 閲覧者延べ300名

カ スポーツ教室等

太極拳 参加者 延べ359名

ヨガ 参加者 延べ52名

キ トレーニングルームを活用したマッサージ体験会(秋田市視覚障害者協会協力)

令和7年9月24日(水) 参加者20名

ク エントランスホールを活用した催事物等の掲示

・デフリンピック(秋田県障害者スポーツ協会)

令和8年6月16日(月)～20日(金) 閲覧者90人

・命のメッセージ展(秋田被害者支援センター)

令和8年7月10日(木)・11日(金) 閲覧者40人

・秋田県共同募金会が歳末募金運動募金箱・関係ポスター等を掲示

令和7年10月1日(水)～12月25日(木)

③社会福祉会館・心身障害者総合福祉センターの利用状況

ア 会議室・展示ホール利用状況	利用件数	2,696 件
	利用人数	56,588 人
イ 心身障害者総合福祉センター利用状況	利用件数	1,513 件
	利用人数	12,826 人
ウ 自主事業等その他の利用状況 (太極拳・ヨガピラティス等)	利用件数	591 件
	利用人数	6,454 人

エ 献血 (8/1、12/23)	利用件数	2 件
	利用人数	25 人
オ 開館時からの総計	利用件数	145,306 件
	利用人数	3,376,816 人

(2)利用者に対するサービスの充実

①利用者満足度の把握

ア 御意見箱の設置

窓口での対応の他に、館内 4 か所に「御意見箱」を設置し、利用者の苦情・要望・意見などを把握した。また、入居団体総務担当者会議(年 2 回)を通じて入居団体・障害者団体からの要望の把握も行った。

イ 利用満足度調査の実施

令和 7 年 5 月から 9 月までに窓口で会議室利用 100 団体にアンケート調査を実施し、窓口対応、設備、清掃状況等について 5 段階で回答をいただいた結果、満足度(県指定算出方法)が 88.2%となった。

※意見・要望抜粋

- ・駐車スペースが少ない
- ・冷暖房の温度設定の強化
- ・健常者の体育館の利用制限の緩和及び体育館利用料金の値下げ(学割など)

②社会福祉会館老朽化への対応

ア 令和 7 年度大規模修繕工事の実施状況(令和 7 年 5 月 21 日～8 月末)

冷温水発生機更新工事の基本・実施設計

発生機の機種選定については今後 20 年使用する場合の燃料やメンテナンス等のランニングコストをトータル的に考慮し、燃料を重油からガスに変更。

また、現在の冷温水発生機のみでの能力不足をカバーするためチラーの新設を花田設計事務所が提言、基本計画書を秋田地域振興局に提出した。

これによって機器にかかる負担を軽減し、故障の発生を抑えるとともに、排気ガスもガス炊きの方がよりクリーンになり、メンテナンス費用低減になる予定である。

イ 令和 8 年度県有建築物修繕工事の予算要求資料を提出

9 件 398,021,360 円相当

ウ 社会福祉会館設備等の小破修繕の実施

35 件 2,378,106 円

③利用者ニーズに応える機材の貸出

ア PC プロジェクター (利用回数年 102 回)

イ 100 インチスクリーン (利用回数年 171 回)

ウ リモート会議用機材 PC (利用回数年 459 回)

(3) 社会福祉会館の管理・運営

①入居団体総務担当者会議

第1回 期 日 令和7年6月30日(金)

参加者 30名

内 容 入居団体への協力依頼について
令和7年度大規模修繕工事の実施予定について
令和7年度防災消防総合訓練の実施予定について
その他

第2回 期 日 令和7年12月12日(金)

参加者 38名

内 容 入居団体への協力依頼事項について
令和7年度大規模修繕工事の実施状況について
省エネ対策について
その他

②防災消防総合訓練の実施・防災講話会

期 日 令和7年7月15日(火)

参加者 入居団体119名

内 容 通報・避難訓練(秋田消防署職員による講評)

期 日 令和8年2月13日(金)

参加者 入居団体28名

内 容 防災講話会

講師 秋田消防署 消防士長 越川俊氏

演題 「冬期間の秋田市の火災の傾向と対策」

(4) その他

利用料収入は、会議室の大口キャンセルや小規模な会場への利用変更等の影響により目標額を下回っている。電気使用量については前年度並みであったが、新電力への切り替えにより、金額では前年度比約17%減少(約3,200千円)となった。光熱水費総額は当年度までの指定管理期間5年間で比較したところ、コロナ禍の影響により会議室の利用率が著しく低下した令和3年度に次いで低く抑えられており、年間を通じてエネルギー支出の削減に努めてきた成果と言える。

推進項目2 職員の資質向上と意識改革

<事業項目1 職員評価の推進>

1 業務目標評価の実施

従来の業務目標評価を業績評価として実施し、業務上の目標に係る達成状況を評価することで組織的で効率的な業務遂行の推進を図った。また、マネジメントチェックを試行的に実施し、部下による管理監督職員の評価機能の構築に努めた。

2 能力評価の実施

能力評価シートを使い自己評価や管理職による評価を行うとともに、ヒアリングを通し職員の業務に対する意欲と資質向上を図った。

<事業項目2 職員の資質向上>

1 資格取得の支援

専門性確保のため、職員の資格取得に向けた支援を行った。

社会福祉士国家試験合格者 1名

<事業項目3 働きやすい環境の整備>

1 健康経営の推進

(1) 衛生委員会の開催

毎月1回開催し、職場環境データや長時間労働状況を報告するとともに、メンタルヘルスケア、感染症対策などについて協議した。

(2) 研修会の開催

①がん予防について

日 時 令和7年9月8日（月）

講 師 秋田県健康福祉部健康づくり推進課職員（県庁出前講座）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 27名

②メンタルヘルス研修

日 時 令和7年10月2日（木）

講 師 秋田産業保健総合支援センターメンタルヘルス対策・両立支援促進員

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 38名

(3) 秋田県版健康経営優良法人の認定（更新）

認定年月日 令和8年3月1日

2 エルダー・メンター制度の実施

新任職員の仕事上の悩みや不安を解消・軽減するため、メンター制度を実施した。

《その他 災害時における被災地支援》

1 令和7年8月19日からの大雨災害に伴う被災地支援の状況

(1) 市町村社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの設置

社協名	設置期間	活動延べ件数	ボランティア延べ人数
仙北市	8月21日（木）～10月15日（水）	32件	849人

(2) 市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンターへの支援

① 秋田県災害ボランティア支援センターの設置

設置期間 令和7年8月21日（木）～10月15日（水）

② 活動状況

・職員派遣

現地ニーズ等の状況確認、情報収集、災害ボランティアセンターの運営支援

・調整、コーディネート

各種問合せ対応、関係機関との連絡調整、全社協との連絡調整、北海道・東北ブロック道県社協との連絡調整

・情報収集・提供

被災状況の把握、ホームページによる災害ボランティアセンター情報等の発信、ボランティア活動に関する情報提供、県及び全社協、北海道・東北ブロック道県社協、被災市町との情報共有

③ 職員派遣状況

派遣期間 令和7年8月21日（木）～9月25日（木）

述べ派遣人数 40名

④ 仙北市災害ボランティアセンター運営の振り返り会（再掲）

2 大雪に伴う被災地支援

(1) 被災地の社会福祉協議会への支援

① 活動状況

・職員派遣

現地ニーズ等の状況確認、情報収集、除雪ボランティアの活動支援

・調整、コーディネート

各種問い合わせ対応、関係機関との連絡調整、全社協との連絡調整

② 職員派遣状況

派遣期間 令和8年2月4日（水）～3月5日（木）

述べ派遣人数 12名

令和8年度

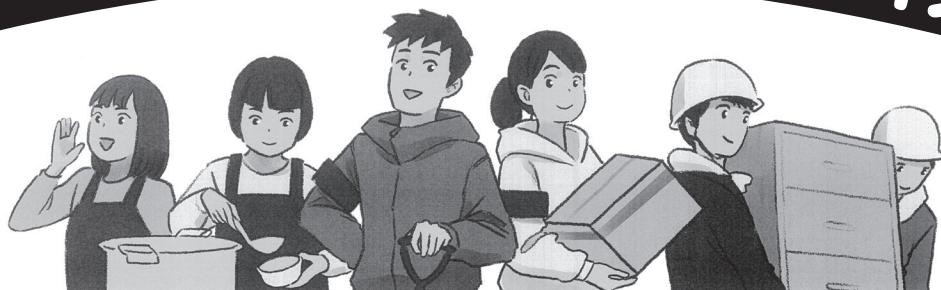
<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
保険金の種類			
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)